

1050迄 (1322件)

1001年-07:00|カンボジア| |||<即位>ケメル王朝国王「ウダヤデーイチャウアルマン1世」(~1002年)
1001年-05:30|スリランカ| |||<即位>アヌラダプラ王国国王「Mahinda5世」Sena5世の弟(~1017年追放される)
1001年-05:30|インド| |||マハト、インド北西部のヒンドゥー・シャヒ朝ジャバール王を破り、シャール地方を併合
1001年-03:00|ベラルーシ| |||<死去>ボロック公「イジヤスラフ・ウラジミロウイチ」
1001年-03:00|タンザニア| |||<即位>キルワ・スルタン「Dawud ibn Ali」(~1005年)
1001年-03:00|ベラルーシ| |||<即位>ボロック公「フセスラフ・イジヤスラフイチ」(~1003年)
1001年-01:00|クワアチア/イタリア| |||ウエネツィアによるダルマチアのザラ/ザダル支配(~1069年)
1001年-01:00|ルウェー/カナダ| |||ルウェー人が北アメリカのヒンランドに上陸
1001年1月12日-09:00|日本| 京都府京都市| 長保2年12月15日| 中納言・平惟仲の東三条第が焼亡
1001年1月13日-09:00|日本| || 長保2年12月16日| <死去>藤原定子(生年977年/第66代一条天皇の皇后、藤原道隆の長女)
1001年1月27日-09:00|日本| || 長保3年| このころ、「枕草子」がなる
1001年2月9日-01:00|ドイツ| |||<即位>サクセン公「ヘルハルト2世」(~10590629)
1001年3月26日-09:00|日本| 京都府京都市| 長保3年2月29日| 「世尊寺」京都に藤原行成が建立。貞純親王の桃園邸の地にあった
1001年5月3日-09:00|日本| 京都府綴喜郡宇治田原町| 長保3年4月8日| 東大寺の僧平崇が山城国禅定寺を建立
1001年6月3日-09:00|日本| 京都府京都市北区| 長保3年5月9日| 疫神を祀るため紫野に今宮神社が創祀
1001年9月-04:30|アフガニスタン/インド/パキスタン| |||カズナ朝マフムト軍がインドへ遠征し、シャール地方を併合
1001年10月20日-08:00|中国| || 契丹・統和19年; 宋・咸平4年10月2日| 契丹、宋を攻める
1001年11月16日-08:00|中国| || 契丹・統和19年; 宋・咸平4年10月29日| 契丹、軍を還す
1001年12月5日-09:00|日本| 京都府京都市| 長保3年11月18日| 内裏焼失
1001年12月21日-01:00|イタリア| |||<死去>トスカナ辺境伯「ウゴ」
1002年-07:00|カンボジア| |||<即位>ケメル王朝国王「シヤウイラウアルマン」(~1006年)
1002年-04:30|アフガニスタン/イラン| |||カズナ朝マフムトがスイスターンを併合
1002年-03:30|イラン/アフガニスタン| |||<退位>サフアル朝第8代アミール「ハラフ2世」降伏
1002年-03:00|イェメン| |||<退位>ラッシー朝イマム「アルマンサー・アルカジム・アルイヤーニ・ヒンアリ」(~10030711死去)
1002年-03:00|イェメン| |||<復位>ラッシー朝イマム「アッダ・イ・ユサフ」(2期目~10120912死去)
1002年-01:00|オーストリア/スロベニア| |||<再位>ケルテン公「オットー1世老公」(~10041104)
1002年-01:00|フランス| |||<死去>ヴェルダン伯「Godfrey1世」
1002年-01:00|ドイツ| |||<就任>西フランク大公「オットー1世老公」(~10041104死去)
1002年-01:00|フランス| |||<就任>ヴェルダン伯「Godfrey2世」(~1012年)
1002年-01:00|スペイン| |||<就任>ベルガ伯「Wilfred」(~1035年)
1002年-01:00|フランス| |||<就任>メコン伯「Guy1世」(~1004年死去)
1002年-01:00|イタリア| |||<即位>ナポリ公「セルギウス4世」(~1036年)
1002年 00:00|アイルランド| |||<即位>アイルランド上王「フライアン・ホルマ・マック・セネイ」(~10140423没)
1002年1月24日-01:00|ドイツ/オーストリア/フランス/イタリア| |||<死去>フランク・ローマ帝国皇帝・ドイツ王・イタリア王「オットー3世」病死
1002年1月24日-01:00|ドイツ/オーストリア/フランス/イタリア| |||<就任>フランク・ローマ帝国宰相「マイツ大司教ウイリギス」(2回目~10020607)
1002年1月24日-01:00|イタリア| |||<即位>イタリア王「フランク・ローマ帝国宰相マイツ大司教ウイリギス」(~2.15)
1002年2月15日-07:00|ベトナム| || 安南・応天9年| 黎桓が全国十道を路・州・府に改めるなど地方制度の確立を図った
1002年2月15日-01:00|イタリア| |||<即位>イタリア王「アルドゥイーノ1世(ウレラ候アルドゥイン)」(~10040514エンリコ2世に敗れて退位)
1002年4月16日-08:00|中国| || 宋・咸平5年3月| 霊州が李継遷によって陥落/李継遷は霊州を西平府と改め、夏国の首府とした
1002年4月30日-01:00|ドイツ| |||<死去>テューリングン辺境伯・マイセン辺境伯「エックハルト1世」
1002年4月30日-01:00|ドイツ| |||<就任>テューリングン辺境伯「グィルヘルム2世」ウァイマル伯(~10031224死去)
1002年4月30日-01:00|ドイツ| |||<就任>マイセン辺境伯「グンツェリン」キェンターの次男、エックハルト1世の弟(~1009年)
1002年5月3日-08:00|中国| || 契丹・統和20年; 宋・咸平5年3月18日| 契丹、宋を攻める
1002年6月3日-08:00|中国| || 契丹・統和20年; 宋・咸平5年4月20日| 契丹、軍を還す
1002年6月7日-01:00|ドイツ| |||<即位>ドイツ王「ハインリヒ2世聖王」オットー3世の又従兄弟、ハインリヒ1世の曾孫(⇒10140214、フランク・ローマ帝国皇帝)
1002年6月19日 00:00|アイルランド| |||<就任>アイルランド連邦共和国政府(アルシグ)法話者「ゲリムル・スガエルティンゴン」(~1003年)
1002年7月-01:00|チェコ| |||<即位>ボヘミア公「ウラジヴァフ」(~1003年1月死去)
1002年7月25日-09:00|日本| || 長保4年6月13日| <死去>為尊親王、冷泉天皇の第三皇子(生年977年)
1002年8月-01:00|スペイン| |||西ウマイヤ朝宰相マンスールがカステリア遠征の帰途に没/子のムサッファルがワスールとなる
1002年9月12日-09:00|日本| || 長保4年8月3日| <死去>藤原原子(生年980年、三条天皇の妃)
1002年10月16日-01:00|フランス| |||<即位>ブルゴニュ公「オットーキヨーム」(~1004年)
1003年-05:30|インド| |||<即位>チャンドラ朝国王「ウディヤダラ」(~1035年)
1003年-04:00|アルメニア| |||<即位>ウァスプラカン王「セネリム・ホヴァネス」(~1021年ビザンティン帝国下)
1003年-03:00|ベラルーシ| |||<即位>ボロック公「フリヤスラフ・イジヤスラフイチ」(~1044年死去)

1050迄 (1322件)

- 1003年-03:00|イェメン| |||<即位>ラッサー朝イマム「アルマデー・アルフセイン」アルマンサー・アルガジムの息子 (~1013年死去)
- 1003年-01:00|イタリア/フランス| |||<就任>サウオイ伯「ウンベルト・ビアンカマーノ」 (~10480719死去)
- 1003年-01:00|ドイツ/オランダ| |||<就任>ユーリヒ伯「ゲルハルト1世」 (~1029年)
- 1003年-01:00|スペイン| |||<就任>リパゴルザ伯「Total Raymond2世の娘」 (~1010年)
- 1003年-01:00|ベルギー| |||<就任>ルーベン・ブラッセル伯「ランベルト1世」エノー伯レジナル3世の息子 (~10150912死去)
- 1003年-01:00|イタリア| |||<即位>スペレート公「ロナス」 (~1010年)
- 1003年 00:00|イギリス| |||<即位>Ternyllwg王「Seisyll ap Brochwel」⇒「Llywelyn ap Seisyll」 (~1023年死去)
- 1003年1月-01:00|チェコ| |||<死去>ホヘミア公「ウラデーヴオイ」
- 1003年1月-01:00|チェコ| |||<即位>ホヘミア公「ヤロミール」(1回目 ~1003年2月)
- 1003年1月25日-01:00|ドイツ| |||<死去>ノルトマルク辺境伯「ロタル」
- 1003年1月25日-01:00|ドイツ| |||<就任>ノルトマルク辺境伯「ヴェルナー」 (~1009年)
- 1003年2月-01:00|チェコ| |||<即位>ホヘミア公「ホレスラフ3世赤毛」(2回目 ~3月)
- 1003年2月4日-08:00|中国| ||契丹・統和21年; 宋・咸平6年| 契丹帝国が保州を侵すと、楊延昭が楊嗣とともに兵を領して援軍に赴き、未だ陣列の整わないうちに襲われて2万以上の死傷者を出す
- 1003年3月-01:00|チェコ/ポーランド| |||<即位>ホヘミア公「ホレスラフ4世(ポーランド王ホレスラフ1世)」ホヘミアをポーランドが占領 (~10040908)
- 1003年5月4日-08:00|中国| ||契丹・統和21年; 宋・咸平6年夏| 契丹帝国は望都を侵した/高陽関副都部署の王繼忠や王超らが拒戦した鋭鋒なる契丹兵の前に敗れた/契丹軍は埋蔵量豊富な炭鉱を奪う
- 1003年5月4日-01:00|ドイツ/スイス| |||<死去>シュヴァーベン大公「ヘルマン2世」
- 1003年5月4日-01:00|ドイツ/スイス| |||<即位>シュヴァーベン大公「ヘルマン3世」 (~10120401死去)
- 1003年5月12日-01:00|バチカン| |||<死去>第139代ローマ教皇「シルヴェステル2世」
- 1003年5月16日-01:00|バチカン| |||<就任>第140代ローマ教皇「ヨハネス17世」 (~10031106死去)
- 1003年11月6日-01:00|バチカン| |||<死去>第140代ローマ教皇「ヨハネス17世」
- 1003年12月24日-01:00|ドイツ| |||<死去>グアイマル伯・テュリンゲン辺境伯「ヴィルヘルム2世(大グイルヘルム)」
- 1003年12月24日-01:00|ドイツ| |||<就任>グアイマル伯「ヴィルヘルム3世」 (~10390416死去)
- 1003年12月25日-01:00|バチカン| |||<就任>第141代ローマ教皇「ヨハネス18世」 (~10090718死去)
- 1004年-03:30|イラン| |||<死去>ジャスタニス朝国王「Khusrau Shah」
- 1004年-01:00|イタリア| |||<死去>アマルフィ公「マンソ1世」
- 1004年-01:00|スペイン| |||<死去>ナバラ王・パンプローナ王「ガルシア・サンチェス2世」
- 1004年-01:00|フランス| |||<死去>ナント伯「Judicael」
- 1004年-01:00|フランス| |||<死去>メーコン伯「Guy1世」
- 1004年-01:00|イタリア| |||<就任>トスカナ辺境伯「ホニファチオ3世」ホローニャ伯 (~1011年)
- 1004年-01:00|フランス| |||<就任>ナント伯「Budic」Judicaelの息子 (~1038年)
- 1004年-01:00|フランス| |||<就任>メーコン伯「オット2世」 (~1049年死去)
- 1004年-01:00|イタリア| |||<即位>アマルフィ公「ジョン1世」 (~1007年死去)
- 1004年-01:00|スペイン| |||<即位>ナバラ王・パンプローナ王「サンチョ・ガルス3世」ガルシア・サンチェス2世とヒメナ・フェルナンデスの男子 (~10351018死去)
- 1004年-01:00|フランス| |||<即位>ブルゴニュ公「ロベルト」 (~1016年)
- 1004年-01:00|ルウェー/カナダ| |||北アメリカのビンランドでルウェー人とインディア人が戦争
- 1004年-01:00|フランス| |||ブルゴニュ公国がフランス王国に統合される (~1032年)
- 1004年1月25日-09:00|日本| ||長保6年| このころ、「和泉式部日記」がなる
- 1004年1月25日-08:00|中国| ||宋・景德1年| 宋の真宗趙恒が景德 (-1007年) と改元
- 1004年3月21日-01:00|ドイツ| |||<譲位>ハインリッヒ大公「ハインリッヒ4世(聖公)」義理の兄弟であるルクセンブルク伯ハインリッヒ5世にハインリッヒを授けた)
- 1004年3月21日-01:00|ドイツ| |||<即位>ハインリッヒ大公「ハインリッヒ5世」ルクセンブルク伯ジークフリートの息子、ハインリッヒ1世、皇后ケグンテの兄 (~1009年)
- 1004年5月14日-01:00|イタリア| |||<退位>イタリア王「アルドゥイーノ1世(ウレラ候アルドゥイン)」エンリコ2世に敗れる
- 1004年5月15日-01:00|イタリア| |||<即位>イタリア王「エンリコ2世(フランク・ローマ帝国皇帝ハインリッヒ2世聖王)」 (~10240713死去)
- 1004年5月18日-01:00|ルクセンブルク/フランス| |||<死去>アルデンス伯「ギゼルベルト1世」
- 1004年5月18日-01:00|ルクセンブルク/フランス| |||<就任>アルデンス伯「フリートリ」共同統治 (~10191006没)
- 1004年6月23日 00:00|アイルランド| |||<就任>アイルランド連邦共和国政府(アルシング) 法話者「スカプティ・トドソン」 (~1030年没)
- 1004年7月11日-01:00|フランス| |||<死去>シャトーダン伯・ブワル伯「Theobald2世」兼シャトル伯「Thibaut2世」
- 1004年7月11日-01:00|フランス| |||<就任>シャトーダン伯・ブワル伯「ウート2世」 (~10371115死去) 兼シャトル伯 (~1023年退位) ランス伯、トゥール伯
- 1004年7月21日-08:00|中国| ||契丹・統和22年7月2日| 契丹、西夏の李德昭(李繼遷の子)を封じて西平王とする
- 1004年8月8日-09:00|日本| ||寛弘1年7月20日| 長保から寛弘に改元
- 1004年9月8日-01:00|チェコ| |||<復位>ホヘミア公「ヤロミール」(2回目 ~10120412)
- 1004年9月8日-01:00|チェコ/スロバキア/ハンガリー/ポーランド/ドイツ| |||ドイツ軍のホヘミア侵攻、モラヴィアはポーランドが統治 (~1029年)
- 1004年10月24日-08:00|中国| ||契丹・統和22年; 宋・景德1年閏9月8日| 契丹帝国の聖宗は宋へ親征
- 1004年11月4日-01:00|ドイツ/イタリア| |||<死去>西フランク大公・ヴェローナ辺境伯「オット1世老公」

1050迄 (1322件)

1004年11月4日-01:00|ドイツ/オーストリア/スロベニア/イタリア| ||<就任>西フランク大公・ケルテン公・ヴェロナ辺境伯「コンラート1世」(~10111212死去)

1005年-08:00|インド/ネパ| ||シュリマラヴァイジヨトガヴァルマン王、南インドのチョラ朝の地、初ハムに仏寺を建立

1005年-03:30|イラン| ||サーマン朝の再興を図ったイスマイルがカラハーン朝に敗死

1005年-03:00|タンザニア| ||<即位>キルワ・スルタン「Khalid ibn Bakr」(~1007年)

1005年-02:00|エジプト| ||ファティマ朝のハキムがカイロに知恵の館を建設

1005年-01:00|ニジェール| ||<即位>ソンガイ王国国王「ザ・コソイ」(~1025年)

1005年-01:00|アルバニア/トルコ| ||アルバニアはビザンチン帝国が統治(復活~1203年)

1005年 00:00|イギリス| ||<死去>グウィネト王「サイナン・アブ・ハウエル」

1005年 00:00|マン島| ||<死去>マン王「Rognvaldr Gudhfridharson」

1005年 00:00|フェロ諸島/デンマーク| ||<就任>フェロ諸島元首「Thrandr Thorbjornsson ae Gotu」(~1035年死去)民

1005年 00:00|マン島| ||<就任>マン王「Olafur Gudhfridharson」(~10140423死去)

1005年 00:00|イギリス| ||<即位>グウィネト王「イダナン・アブ・ブレグウリド」(~1018年死去)

1005年 00:00|イギリス| ||<即位>デハイバース王「エドウィン・アブ・アインオン」(~1018年)

1005年 00:00|ヨーロッパ| ||ヨーロッパで重量犁が普及し、農業の生産性が向上

1005年1月13日-09:00|日本|京都府京都市中京区|寛弘1年12月|皮聖行円が一条北辺に行願寺(革堂)を建立し念仏を唱え布教

1005年1月21日-08:00|中国| ||契丹・統和22年;宋・景德1年12月9日|宋軍は契丹を撃退、宋と遼の間にセリ淵の盟約が結ばれ講和、両国の国境が決定される

1005年2月12日-09:00|韓国/朝鮮| ||高麗・統和23年|全州節度仕を設置

1005年2月12日-08:00|中国| ||宋・景德2年|ホータン、イラムのユースフ・ガディル・ハンに征服される

1005年3月25日 00:00|イギリス| ||<死去>スコットランド王「ケネス3世首領/茶毛王」

1005年3月25日 00:00|イギリス| ||<即位>スコットランド王「マルカム2世破壊王」ケネス2世の息子(~10341125殺害される)

1005年4月19日-07:00|ベトナム| ||安南・応天12年3月8日|<死去>前黎朝皇帝「大行皇帝(黎桓)」64歳

1005年4月19日-07:00|ベトナム| ||安南・応天12年3月8日|<即位>前黎朝皇帝「中宗(黎龍鉞)」黎桓の三男(~4. 22弟の開明王に殺害された)

1005年4月22日-07:00|ベトナム| ||安南・応天12年3月11日|<死去>前黎朝皇帝「中宗(黎龍鉞)」弟の開明王に殺害された

1005年4月22日-07:00|ベトナム| ||安南・応天12年3月11日|<即位>前黎朝皇帝「臥朝皇帝」黎桓の五男(~10091119(景瑞2年10月30日)死去)

1005年10月31日-09:00|日本| ||寛弘2年9月26日|<死去>安倍晴明(85歳、生年921年/陰陽師)

1005年11月23日-09:00|日本|京都府宇治市|寛弘2年10月19日|藤原道長、法華三昧堂の落慶供養を実施/木幡浄妙寺

1005年12月18日-09:00|日本|京都府京都市|寛弘2年11月15日|内裏炎上して殿上みな焼失

1006年-08:00|インド/ネパ| ||スマトラのシュリーヴァイジャガジャワのマタラム国に侵攻

1006年-07:00|カホジニア| ||<即位>カメル王朝国王「スーリヤヴァルマン1世」(~1050年死去)

1006年-03:30|イラン| ||<即位>ハバント朝太守「Abu Ja'far Muhammad」(~1027年)

1006年 00:00|イギリス| ||<就任>ノサンブランド伯「Uhtred the Bold」(~1016年死去)

1006年4月30日 00:00|世界| ||おおかみ座に超新星(SN1006)出現(太陽と月以外で史上最も視等級が明るい天体が世界各地で観測される)

1006年10月29日-09:00|日本|京都府京都市|寛弘3年10月5日|冷泉上皇御所、東三条南院焼亡

1007年-05:00|タジキスタン/アフガニスタン| ||<即位>グリド朝マク「Muhammad ibn Suri」(~1011年死去)

1007年-03:00|タンザニア| ||<即位>キルワ・スルタン「al-Hassan ibn Suleiman ibn Ali」(~1023年)

1007年-01:00|イタリア| ||<死去>アルフィ公「ジョン1世」

1007年-01:00|イタリア| ||<死去>カプア公「ランダル7世」

1007年-01:00|イタリア| ||<就任>カプア公「ハンタール7世」(~1022年)

1007年-01:00|イタリア| ||<就任>マントヴァ伯「Boniface」(~10520506死去)

1007年-01:00|イタリア| ||<即位>アルフィ公「セルギウス2世」(~1028年廃位)

1007年1月22日-09:00|日本| ||寛弘4年|この頃「源氏物語」完成

1007年1月22日-09:00|韓国/朝鮮| ||高麗・統和25年|耽羅で海中から瑞山が出現

1007年1月22日-09:00|日本|大阪府大阪市阿倍野区|寛弘4年|安倍晴明神社創建<安倍清明生誕の地>

1007年1月22日-09:00|日本|京都府京都市上京区|寛弘4年|安倍晴明の私邸跡(京都府)に晴明神社創建<安倍晴明を祀る>

1007年1月22日-08:00|中国| ||宋・景德4年|<即位>天山ウイグル王国可汗「キュン・アイ・テンゲリテグ・キェンチグ・コルトケレ・ヤルク・テングリ・ボキェ・テングリ・ケニズ」

1007年1月22日-07:00|ベトナム| ||安南・応天14年|<即位>チャンパ王「ハリヴァルマン3世」(~1010年)

1007年1月22日-08:00|中国| ||契丹・統和25年1月|契丹、中京(内モンゴル自治区寧城県)を建てる

1007年1月25日-01:00|ドイツ/バチカン/イタリア| ||カノッサの屈辱/教皇グレゴリウス7世に破門された、神聖ローマ帝国ハインリッヒ4世、北イタリアカノッサで3日3晩雪の中で許しを乞うて許される

1007年1月26日-09:00|日本|京都府京都市|寛弘4年1月5日|右衛門督・藤原齊信第(中御門)焼亡

1007年4月14日-09:00|日本|京都府京都市|寛弘4年3月24日|大納言・藤原道綱第焼亡

1007年8月6日 04:00|日本|京都府京都市|寛弘4年6月21日|午後、京都各所に落雷、京極殿堂北廊にも落雷し、北政

1050迄 (1322件)

所御堂・南北廊下・中門・西大門など焼失、堀川院の大樹倒れる

- 1007年11月14日-09:00|日本| ||寛弘4年10月2日|<死去>敦道親王(生年981年/皇族、歌人)
- 1008年-05:30|インド| ||<即位>後期チャールヤ朝国王「Vikramaditya5世」(~1015年)
- 1008年-05:00|ウズベキスタン| ||<即位>クワズミアン朝シャー「Abu l-Abbas Ma'mun ibn Ma'mun」(~1017年)
- 1008年-04:00|ジョージア| ||<死去>イベリア王「ケルゲン」
- 1008年-04:00|ジョージア| ||<即位>ゲルジア国王「バケラト3世」建国(~10140507死去)
- 1008年-03:30|イラン| ||<即位>カイト朝アミール「Muhammad」(~1041.9死去)
- 1008年-01:00|フランス| ||<死去>プロヴァンス伯「Rotbold1世」
- 1008年-01:00|フランス| ||<就任>プロヴァンス伯「ルベ-2世」ルベ-1世の息子(~1014年死去)兼プロヴァンス辺境伯「ルベ-3世」
- 1008年-01:00|スウェーデン| ||スウェーデンにキリスト教が普及
- 1008年2月10日-09:00|日本| ||寛弘5年|この頃、惟宗允亮、政務運営に関する事例を掲げた書「政事要略」を著わす
- 1008年2月10日-07:00|ベトナム| ||安南・景瑞1年|前黎朝で景瑞と改元(-1009)
- 1008年2月10日-08:00|中国| ||宋・大中祥符1年1月|宋の真宗趙恒が大中祥符(-1016年)と改元
- 1008年3月17日-09:00|日本| ||寛弘5年2月8日|<死去>花山法皇(41歳、安和1(968)1026生/第65代天皇)
- 1008年4月14日-01:00|ベルギー-| ||<死去>リエージュ公「ハイボノッカー」
- 1008年4月14日-01:00|ベルギー-| ||<就任>リエージュ公「ハルトリック2世」(~10180629死去)
- 1008年6月30日-09:00|日本| ||寛弘5年2月8日|<死去>び子内親王、皇族(生年1001年)
- 1008年10月6日 00:00|ポルトガル| ||<死去>ポルトガール伯「メネト・ゴンサレス」
- 1008年10月6日 00:00|ポルトガル| ||<就任>ポルトガール伯「アルヴァイト・ヌネス」(~1015年死去)
- 1008年11月20日-01:00|フランス| ||<死去>ブルターニュ公・レンヌ公・レンヌ伯「ジヨフロワ1世」
- 1008年11月20日-01:00|フランス| ||<即位>ブルターニュ公「アラン3世」兼レンヌ公・レンヌ伯「アラン1世」ジヨフロワ1世とアウフォーヌ・ド・ノルマンディーの長子(~10401001死去)、ブルターニュ公「エオン1世」ジヨフロワ1世とアウフォーヌ・ド・ノルマンディーの次男(~1035年)
- 1009年-05:30|インド| ||この頃、チョーラ朝ラージヤラージャ1世、プリハッテ・イシュヴァラ寺院を造営
- 1009年-03:30|イラン| ||<死去>マムニ朝シャー「Abu al-Hasan 'Ali」
- 1009年-03:30|イラン| ||<即位>マムニ朝君主「Ma'mun2世」(~1017.3死去)
- 1009年-01:00|イタリア| ||<就任>ヴェネツィア共和国第27代ドージェ(元首)「オットネ・カレオロ」(~1026年)
- 1009年-01:00|ドイツ| ||<就任>ノルマルク辺境伯「ヘルンハルト1世」(~1018年)
- 1009年-01:00|ハンガリー| ||<就任>ハンガリー王国「ラタイン」サミュエル・アハ」(~1038年)
- 1009年-01:00|ドイツ| ||<就任>マイセン辺境伯「ヘルマン1世」エックハルト1世の長男(~10381101死去)
- 1009年-01:00|スペイン| ||<即位>後ウマイヤ朝第4代カリフ「ムハンマド2世」(~1010年死去)、第5代カリフ「スライマン」(~1010年)
- 1009年-01:00|スペイン| ||<即位>アルブエンテ・タイファ「Abd Allah1世」(~1030年)
- 1009年-01:00|イタリア| ||<即位>カプア公「ハントアルフ3世」共同統治(~1014.8死去)
- 1009年-01:00|スペイン| ||<即位>トルサ・タイファ「Lab'ib」(~1039年)
- 1009年-01:00|スペイン| ||<即位>バダホス・タイファ「Sabur al-Saqlabi」(~1022年)
- 1009年 00:00|ポルトガル| ||バダホス国がコインブラとノスアルヴェホ間の領域を支配(~1094年)
- 1009年1月29日-08:00|中国| ||大理・広明24年|<死去>前大理第6代皇帝「昭明帝(段素英)」
- 1009年1月29日-08:00|中国| ||大理・広明24年|<即位>前大理第7代皇帝「宣肅帝(段素廉)」(~1022年)
- 1009年1月29日-07:00|ベトナム| ||安南・景瑞2年|黎龍タイ(臥朝王)が24歳の時に部下に殺害された/子はわずか10歳と幼少であったため、黎龍タイの弟の黎明提・黎明昶が拳兵し帝位を争った
- 1009年3月-01:00|ドイツ| ||<復位>バイエルン大公「ハインリヒ4世」(~1017.12退位~10240713死去)
- 1009年3月2日-09:00|朝鮮| ||高麗・統和27年2月3日|<死去>高麗王「穆宗」武臣・康兆が殺害(康兆の政変(康兆の乱))
- 1009年3月2日-09:00|朝鮮| ||高麗・統和27年2月3日|<即位>高麗王「顕宗」(~1031年)
- 1009年6月-01:00|スペイン| ||コルトバ市民のベルベル人傭兵に対する闘争が始まる
- 1009年7月18日-01:00|バチカン| ||<死去>第141代ローマ教皇「ヨハネス18世」
- 1009年7月31日-01:00|バチカン| ||<就任>第142代ローマ教皇「セルギウス4世」(~10120512死去)
- 1009年8月21日-09:00|日本| ||寛弘6年7月28日|<死去>具平親王(生年964年、村上天皇の第七皇子)
- 1009年10月18日-02:00|イスラエル| ||ファティマ朝のカフ・ハキムの命でエルサレムのキリスト教会(聖墳墓教会)完全破壊
- 1009年10月25日-09:00|日本|京都府京都市|寛弘6年10月5日|内裏一条院焼失
- 1009年11月19日-07:00|ベトナム| ||安南・景瑞2年10月30日|<死去>前黎朝皇帝「臥朝皇帝」
- 1009年11月19日-07:00|ベトナム| ||安南・景瑞2年10月30日|<即位>李朝大瞿越初代皇帝「太祖李公蘊」帝位を篡奪(~10280331(順天19年3月3日)死去)
- 1010年-05:30|インド| ||<即位>ハラマラ朝国王「ホーージャ」(~1055年)
- 1010年-05:30|インド/パキスタン| ||ガズナ朝のマムドゥがシンド地方を支配
- 1010年-04:00|ロシア| ||<即位>フゴロト公「ヤロスラフ・ウラジミロヴィチ」(~1034年)
- 1010年-04:00|ロシア| ||<即位>ロストフ公「ホリス・ウラジミロヴィチ」(~1015年)
- 1010年-03:00|イラク| ||<即位>マルワン朝「Sharwin ibn Muhammad」(~1010年)
- 1010年-01:00|スペイン| ||<死去>後ウマイヤ朝第4代カリフ「ムハンマド2世」
- 1010年-01:00|ベルギー-| ||<就任>ナミュール伯「ロベール2世」(~1018年)アルベール1世の子
- 1010年-01:00|スペイン| ||<就任>リバゴルサ伯「William Isarn」(~1017年死去)、「Mayor Garcia」(~1025年)、「Raymond3世」(~1025年)

1050迄 (1322件)

- 1010年-01:00|スペイン| |||<即位>後ウマイヤ朝第3代カリフ「ヒシャム2世」(~10130419死去)
- 1010年-01:00|イタリア| |||<即位>スレート公「レイニア」(~1020年)
- 1010年-01:00|スペイン| |||<即位>デニア・タイファ「Mujahid al-Muwaffaq」(~1045年)
- 1010年-01:00|スペイン| |||<即位>トレド・タイファ「Muhammad ibn Ya'is」
- 1010年-01:00|スペイン| |||<即位>ハレンシア・タイファ「Mubarak and Muzaffar」(~1017年)
- 1010年-01:00|スペイン| |||<即位>マロン・タイファ「Abu Tuziri al-Dammari」(~1013年)
- 1010年 02:00|グリーンランド/アイスランド| |||<死去>グリーンランド 統治者「Eiríkr "the Red" Thorvaldsson」
- 1010年 02:00|グリーンランド/アイスランド| |||<就任>グリーンランド 統治者「Leifr Eiríksson」(~1020年死去)
- 1010年1月17日-09:00|日本|京都府京都市左京区|寛弘6年12月30日|鞍馬寺が焼失
- 1010年1月18日-08:00|中国| ||大理・明啓1年|大理国の段素廉が明啓(-1022年)と改元
- 1010年1月18日-07:00|ベトナム| ||安南・順天1年|<即位>チャンパ王「ハラメシュガアラウアルマン2世」(~1018年)
- 1010年1月18日-07:00|ベトナム| ||安南・順天1年1月|李朝大越国が順天と改元(-1028年)
- 1010年2月25日-03:30|イラン| |||フイルドゥシーがイランの民族叙事詩「シャー・ナーメ」を完成
- 1010年8月13日-07:00|ベトナム| ||安南・順天1年7月|首都を華閩(ホルー)から昇龍(ハノイ、現ハノイ)に移す
- 1010年9月1日-01:00|アンドラー| |||<死去>ウルグエイ伯「Ermengol1世el de Cordova」コルドバで戦死
- 1010年9月1日-01:00|アンドラー| |||<就任>ウルグエイ伯「Ermengol2世」(~1038年死去)
- 1010年10月1日-08:00|中国/朝鮮| ||契丹・統和28年;高麗・統和28年8月21日|第2次契丹(遼)の侵入/契丹の聖宗が大軍で侵入、補給に不安を感じ後退を始めた遼軍に反撃を加え大勝
- 1010年10月19日-08:00|中国| ||契丹・統和28年9月10日|契丹、西平王李徳昭を夏国王とする
- 1010年12月15日-09:00|日本| ||寛弘7年11月7日|<死去>為平親王(生年952年/皇族、村上天皇第四皇子)
- 1011年-05:30|インド| |||<即位>東チャルキヤ朝君主「Vimaladitya」(~1018年)
- 1011年-04:30|アフリカ| |||<死去>コール朝マリク「Muhammad ibn Suri」
- 1011年-04:30|アフリカ| |||<即位>コール朝マリク「Abu Ali ibn Muhammad」(~1035年死去)
- 1011年-03:30|イラン/イラク| |||<即位>アサド王「Husam al-Dawla Abu'l Shawk Faris ibn Muhammad」(~1046年)、「M uhalhil ibn Muhammad」(~1055年)、「Surkhab1世ibn Muhammad」(~1046年)、「Sa'idi ibn Faris」(~1055年)
- 1011年-03:00|イラク| |||<即位>マルワン朝「Nasr al-Dawla Ahmad ibn Marwan」(~1061年)
- 1011年-01:00|ベルギー| |||<死去>ナムール伯「アルベール1世」
- 1011年-01:00|オーストリア/スロベニア| |||<即位>ケルテン公国(エッペンシュタイン家)アタルベロ(~1035年)
- 1011年1月2日-08:00|中国/朝鮮| ||契丹・統和28年;高麗・統和28年11月25日|契丹、高麗の開京(朝鮮民主主義人民共和国開城市)を攻める
- 1011年2月6日-08:00|中国/朝鮮| ||契丹・統和29年;高麗・統和29年1月1日|高麗の開城が契丹軍に蹂躪され、灰塵に帰す
- 1011年2月9日-01:00|ドイツ| |||<死去>ザクセン公「ヘルハルト1世」
- 1011年2月9日-01:00|ドイツ| |||<即位>ザクセン公「ヘルハルト2世」(~10590629死去)
- 1011年7月16日-09:00|日本| ||寛弘8年6月13日|<踐祚>第67代「三条天皇」(10.16即位~10160129)
- 1011年7月16日-09:00|日本| ||寛弘8年6月13日|<退位>第66代「一条天皇」
- 1011年7月25日-09:00|日本| ||寛弘8年6月22日|<死去>第66代「一条天皇(法皇)」32歳(誕生:天元3(980)0601)
- 1011年9月1日-08:00|中国/朝鮮| ||高麗・統和29年8月|東女真が船100余で高麗の慶州を襲う
- 1011年11月3日-09:00|日本|京都府京都市中京区|寛弘8年10月6日|法興院法華堂を残して焼亡
- 1011年11月21日-09:00|日本| ||寛弘8年10月24日|<死去>第63代「冷泉天皇(上皇)」/62歳(誕生:天曆4(950)0524)
- 1011年12月1日-09:00|日本|京都府京都市|寛弘8年11月4日|京都大火、土御門南(上東門南)、陽明門北、帯刀町東、西洞院西で大火、700余戸焼失
- 1011年12月12日-01:00|ドイツ/オーストリア/スロベニア/イタリア| |||<死去>西フランク大公・ケルテン公・グエロナ辺境伯「コンラート1世」
- 1011年12月12日-01:00|ドイツ| |||<就任>西フランク大公「コンラート2世」(~1039年)
- 1011年12月12日-01:00|オーストリア/スロベニア| |||<即位>ケルテン公「アタルベロ」兼グエロナ辺境伯(~10350518)
- 1012年-08:00|インドネシア| |||<即位>スタナ王国マハラジャ「Prabu Dewa Sanghyang」(~1019年)
- 1012年-05:30|インド| |||<即位>ジョーラ朝国王「ラーゼントラ1世」ラーゼンヤラジャ1世の息子(~1044年死去)
- 1012年-03:30|イラン| |||<死去>スィヤール朝第4代国王「カーブース・ブン・ワシムギール」
- 1012年-03:30|イラン| |||<即位>スィヤール朝第5代国王「マヌチル・ブン・カーブース」(~1031年死去)
- 1012年-03:00|イェメン| |||<即位>ジヤディット朝アミール「Ibrahim」(~1018年)
- 1012年-03:00|サウジアラビア| |||<即位>メッカ・シャリフ「アブ・タイブ・ダウト・ビン・アブドゥル・ラーマン・ビン・アヒド・アル・ファティク」(~1039年)
- 1012年-01:00|フランス| |||<死去>下ロタリキア公「オトン」
- 1012年-01:00|クロアチア/スロベニア/イタリア| |||<就任>イストリア辺境伯「Poppo1世」(~1044年死去)
- 1012年-01:00|フランス| |||<就任>ヴェルダン伯「フレリク」(~10220106死去)
- 1012年-01:00|フランス| |||<就任>カルソヌス伯「ペーター2世」(~1034年)、「ウイリアム1世」ロジャール1世の甥(~1034年)
- 1012年-01:00|フランス| |||<即位>下ロタリキア公「アルテンヌ=ヴェルダン家ゴットフロク2世(1世)」(~1023年)
- 1012年-01:00|スペイン| |||<即位>アルメリア・アルハチン・タイファ「Hudayl Djalaf 'Izz ad-Dawla」(~1045年)
- 1012年-01:00|スペイン| |||<即位>アルメリア・タイファ「Aflah」
- 1012年-01:00|スペイン| |||<即位>サルテスおよびウエルバ・タイファ「Abd al-'Aziz 'Izz ad-Dawla」(~1051年)
- 1012年4月1日-01:00|ドイツ/スイス| |||<死去>シュヴァーベン大公「ヘルマン3世」

1050迄 (1322件)

- 1012年4月1日-01:00|ドイツ| |||<即位>シュヴァーベン大公「エルスト1世」(~10150331死去)ヘルマン2世の娘ギゼラと結婚
- 1012年4月12日-01:00|チェコ| |||<即位>ボヘミア公「リッチ1世」(1回目~1033年10月)
- 1012年5月12日-01:00|バチカン| |||<死去>第142代ローマ教皇「セルギウス4世」
- 1012年5月18日-01:00|バチカン| |||<就任>第143代ローマ教皇「ベネディクトゥス8世」(~10240409死去)
- 1012年6月12日-01:00|バチカン| |||<就任>対立ローマ教皇「グレゴリウス6世」(~10121231)
- 1012年8月6日-09:00|日本| ||寛弘9年7月16日|<死去>大江匡衡(生年952年/公家、儒学者、歌人、中古三十六歌仙の一人)
- 1012年8月20日-09:00|日本| ||寛弘9年8月|齋院選子内親王が発心和歌集を撰する
- 1012年9月12日-03:00|イェメン| |||<死去>ラッシー朝イマム「アッダ・イ・ユサフ」
- 1012年10月18日-08:00|中国| ||契丹・開泰1年10月1日|契丹の聖宗が開泰(-1021年)と改元
- 1012年12月3日-09:00|日本|京都府|寛弘9年閏10月17日|法興院・積善寺焼亡
- 1012年12月22日-03:00|イラク/イラン| |||<死去>フワフ朝(ケルマン地方)アミール「ハ・ハー・ウッダウラ」
- 1012年12月22日-03:00|イラク/イラン| |||<即位>フワフ朝(イラク地方・ケルマン地方)アミール「スルタン・ウッダウラ」ハ・ハー・ウッダウラの子(~1021年退位)兼(ファールス地方)アミール(~1024.12死去)
- 1013年-05:30|インド| |||ガズナ朝が第3次インド侵攻、ターリクでヒンドゥー教の神殿を破壊
- 1013年-03:00|イェメン| |||<死去>ラッシー朝イマム「アルマデ・イ・アルフセイン」
- 1013年-03:00|イェメン| |||<即位>ラッシー朝イマム「アルムアヤト・アフマト・ヒン・アルフセイン」(~1020年死去)
- 1013年-02:00|ウクライナ| |||<即位>ウァルイーニ公「スウヤトスラフ・ヤロスラフイチ」(~1054年)
- 1013年-01:00|フランス| |||<死去>エノー伯「レニエ4世」
- 1013年-01:00|フランス| |||<就任>エノー伯「レニエ5世」(~1039年死去)
- 1013年-01:00|スペイン| |||<即位>カモチ・タイファ「Abd Allah」(~1023年)
- 1013年-01:00|スペイン| |||<即位>グアラタ・タイファ「Zawi ben Ziri」(~1019年)
- 1013年-01:00|スペイン| |||<即位>バダホス・タイファ「Abu Muhammad Abdallah ibn Muhammad al-Sabur al-Saqlabi」(~1022年)
- 1013年-01:00|スペイン| |||<即位>マロン・タイファ「Nuh」(~1041年)
- 1013年2月8日-09:00|日本| ||長和1年12月25日|寛弘から長和に改元
- 1013年2月13日-09:00|日本|京都府京都市左京区|長和2年|この年僧寂源が大原勝林院を創建
- 1013年2月13日-08:00|中国| ||宋・大中祥符6年|「冊府元龜」が完成
- 1013年2月28日-09:00|日本|京都府京都市中京区|長和2年1月16日|東三条院焼亡
- 1013年4月19日-01:00|スペイン| |||<死去>後ウマイヤ朝第3代カリフ「ヒシャム2世」
- 1013年4月19日-01:00|スペイン| |||<即位>後ウマイヤ朝第5代カリフ「スライマン2世」(~1016年死去)
- 1013年6月16日-09:00|日本| ||長和2年5月6日|<死去>藤原高遠(生年949年/歌人、中古三十六歌仙の一人)
- 1013年8月7日-09:00|日本| ||長和2年6月28日|<死去>昭平親王、皇族(生年954年)
- 1013年8月28日-09:00|日本|京都府京都市|長和2年7月19日|源雅通の四条宅焼亡
- 1013年12月6日-09:00|日本|京都府京都市|長和2年11月1日|源俊賢宅焼亡
- 1013年12月25日 00:00|イギリス/デンマーク| |||<即位>イギリス王「スウェン」ハラル1世とグリド・オラフストイルの男子(~10140203死去)イングランドはデンマーク王の支配下に置かれた
- 1013年12月25日 00:00|イギリス| |||<退位>イギリス王「エセルレッド2世無思慮王」亡命
- 1014年-06:30|ミャンマー| |||<即位>アラカン国王「ミンラーテ」(~1034年)
- 1014年-05:30|インド| |||<死去>チョーラ朝国王「ラージヤラージヤ1世」
- 1014年-04:00|ロシア| |||<即位>プスコフ公「ステイヌラフ・ウラジミロヴィチ」(~1036年)
- 1014年-03:30|イラン| |||<即位>ハサンウェイット朝国王「Tahir ibn Hilal」(~1015年)
- 1014年-01:00|フランス| |||<死去>プロヴァンス伯「ルベ-2世」兼プロヴァンス辺境伯「ルベ-3世」
- 1014年-01:00|フランス| |||<死去>ルション伯「Giselbert1世」
- 1014年-01:00|イタリア| |||<就任>トスカナ辺境伯「ラニエリ」(~1027年)
- 1014年-01:00|フランス| |||<就任>プロヴァンス辺境伯「ギヨム3世(5世)」ルベ-3世の子(~1037年)
- 1014年-01:00|フランス| |||<就任>ルション伯「Gausfred2世」(~1074年死去)
- 1014年-01:00|スペイン| |||<即位>アルメリア・タイファ「Khayran」
- 1014年-01:00|スペイン| |||<即位>ウマイヤ朝コルドバ対立カリフ「al-Mu'iti」(~1016年)
- 1014年-01:00|アルジェリア| |||<即位>ハンマート朝スルタン「ハンマート」(~1028年死去)
- 1014年-01:00|イタリア| |||<退位>イタリア王「アルドゥイーノ1世」エンリコ2世に敗れて
- 1014年 00:00|アイルランド| |||アイルランド上王ブライアン・ボルがクオンターフでヴァイキングを破り、これ以降ヴァイキングの侵入が収束
- 1014年 00:00|モロッコ/スペイン| |||タンジールはセウタタイファ州の一部(~1078年)
- 1014年2月3日-01:00|デンマーク| |||<即位>デンマーク王「ハラル2世」スウェン1世とグエンツのグンヒルトまたはシグリスの長男(~1018年死去)
- 1014年2月3日 00:00|イギリス/デンマーク/ノルウェー| |||<死去>イングランド王・デンマーク王・ノルウェー王「スウェン1世双叉髭王」約54歳
- 1014年2月3日 00:00|イギリス| |||<復位>イギリス王「エセルレッド2世」(2期目~10160423死去)
- 1014年2月14日-01:00|ドイツ/イタリア/オーストリア/チェコ| |||<即位>フランク・ローマ帝国皇帝「ハインリヒ2世聖王(エンリコ2世)」ドイツ王・イタリア王(~10240713没)

1050迄 (1322件)

1014年3月1日-09:00|日本| ||長和3年1月27日|戌刻彗星見ゆ。卷舌南に長さ2尺
1014年3月4日-09:00|日本| ||長和3年2月|<任命>鎮守府将軍「平維良」(~不詳)
1014年3月12日-09:00|日本|京都府京都市|長和3年2月9日|内裏焼失
1014年4月13日-09:00|日本|京都府京都市|長和3年3月12日|内蔵寮・掃部寮など焼失
1014年4月23日 00:00|アイルランド| ||<死去>アイルランド 上王「フライアン・ホルマ・マック・セチイ」
1014年4月23日 00:00|マン島| ||<死去>マン王「Olafur Gudhfridharson」
1014年4月23日 00:00|アイルランド| ||<復位>アイルランド 上王「モル・セジュリ・モル・マック・ドムネイル」(2回目~10220902死去)
1014年4月23日 00:00|マン島/アイルランド| ||マン島はダブリンの北欧王国の領地(~1079年)
1014年5月7日-04:00|ジョージア| ||<死去>ゲルジア国王「ハゲラト3世」
1014年5月7日-04:00|ジョージア| ||<即位>ゲルジア国王「ジョージ1世」(~10270816死去)
1014年6月5日-09:00|日本|京都府京都市右京区|長和3年5月5日|広隆寺で薬師仏の開眼を行う
1014年7月29日-02:00|ブルガリア/トルコ| ||<クレティオン峠の戦い>東ローマ帝国が第一次ブルガリア帝国に大勝
1014年8月-01:00|イタリア| ||<死去>ベネチエト大公「パントルフ2世」兼カプア公「パントルフ3世」
1014年8月-01:00|イタリア| ||<即位>ベネチエト大公「ラントルフ5世」(~1033.9死去)
1014年10月6日-02:00|ブルガリア| ||<死去>ブルガリア帝国皇帝「サミュエル」
1014年10月6日-02:00|ブルガリア| ||<即位>ブルガリア帝国皇帝「カヴリル・ラドミル」(~1015年8月、殺害される)
1014年10月6日-02:00|ブルガリア/トルコ| ||ビザンチン皇帝バシレイオス2世が、サムイル率いるブルガリア軍にスルマ河畔の戦いで勝つ
1014年12月19日-09:00|韓国/朝鮮| ||高麗・開泰3年11月25日|高麗で金訓ら武臣が反乱をおこし、一時政権を奪取
1015年-05:30|インド| ||<即位>後期チャルキヤ朝国王「Jayasimha2世」(~1042年)
1015年-02:00|ウクライナ| ||<死去>ドレークヤネ公「スヴァトスラフ・ウラジミロヴィチ」
1015年-01:00|フランス| ||<死去>メヌ伯「ヒュ3世」
1015年-01:00|フランス| ||<就任>メヌ伯「ハーバート1世」(~10350413死去)
1015年-01:00|ルウェー| ||<即位>ルウェー王「オラウ2世ハラルド・ソフ肥満王」(~1028年11月)
1015年-01:00|アルゼリア| ||<即位>ハンマド朝初代ハンマド(~1028)コルドバでスィール朝からの独立を宣言
1015年-01:00|イタリア| ||ルマン人の南イタリア定住が始まる
1015年 00:00|イギリス| ||<死去>ストラスクライド王「Eogan mac Domhnaill (Owen2世)」
1015年 00:00|ポルトガル| ||<死去>ポルトガル伯「アルヴァイト・ヌス」
1015年 00:00|ポルトガル| ||<就任>ポルトガル伯「ヌ・アルヴァイト」(~1028年死去)、「イルドゥアラ・メンデス」(~1028年)
1015年 00:00|イギリス| ||<即位>グウェント王「エドウィン・アブ・ゲリフト」(~1045年)
1015年 00:00|イギリス| ||<即位>グウィーンシング王「Rhydderch ap Iestyn」(~1033年死去)
1015年 00:00|イギリス| ||ストラスクライドはスコットランドに組み込まれる
1015年1月10日-09:00|日本|京都府京都市|長和3年12月17日|花山院焼失
1015年1月23日-08:00|中国/インド| ||宋・大中祥符8年|チョウ朝の使節、宋に達する
1015年3月31日-01:00|ドイツ/スイス| ||<死去>シュヴァーベン大公「エルスト1世」
1015年3月31日-01:00|ドイツ/スイス| ||<即位>シュヴァーベン大公「エルスト2世」(~10300817死去)
1015年5月3日-09:00|日本|京都府京都市|長和3年12月17日|藤原教通宅(東洞院西、三条坊門南)焼亡
1015年5月13日-09:00|日本|京都府京都市|長和3年12月17日|藤原能通宅(三条坊門京極通)焼亡
1015年6月25日-09:00|日本| ||長和4年6月7日|<死去>賀茂光榮(生年939年/陰陽師、陰陽家)
1015年7月13日-09:00|日本|京都府京都市|長和4年6月25日|疫神の神託により花園に今宮社建立し、御霊会を修した
1015年7月15日-02:00|ウクライナ/ロシア| ||<死去>キフ大公「ウラジミル1世(聖公)」
1015年7月15日-02:00|ウクライナ/ロシア| ||<即位>キフ大公「スヴァトボルク1世」(1期目~1016年)
1015年8月-02:00|ブルガリア| ||<死去>ブルガリア帝国皇帝「カヴリル・ラドミル」殺害される
1015年8月-02:00|ブルガリア| ||<即位>ブルガリア帝国皇帝「イワン・ウラジスラフ」(~1018年2月、死去)
1015年9月1日-01:00|ドイツ| ||<死去>オスマルク辺境伯「ゲロ2世」
1015年9月1日-01:00|ドイツ| ||<就任>オスマルク辺境伯「ティートマル2世」(~10300110死去)ゲロ2世の子
1015年9月12日-01:00|ベルギー| ||<死去>ルーベン・ブラッセル伯「ランベルト1世」
1015年9月12日-01:00|ベルギー| ||<就任>ルーベン・ブラッセル伯「ヘンリー1世」ランベルト1世の息子(~1038年死去)
1015年12月11日-09:00|日本| ||長和4年10月27日|藤原道長が摂政に準ずる
1015年12月30日-09:00|日本|京都府京都市|長和4年11月17日|内裏が焼失
1016年-08:00|インドネシア| ||シュリーヴイジャヤ王国(スマトラ島のパレンバンを中心に栄えた通商国家)の報復攻撃を受けダラムアンジャ王は殺され、サンジャ朝マタン王国は崩壊
1016年-04:00|ロシア| ||ヤロスラフ軍はスヴァトボルクの軍を破りキフに入城
1016年-02:00|ウクライナ/ロシア| ||<即位>キフ大公「ヤロスラフ1世賢公」(1期目~1017年)
1016年-01:00|スペイン| ||<死去>後ウマイヤ朝第5代カリフ「スライマン2世」
1016年-01:00|チェコ/アフリカ/アルゼリア| ||<死去>スィール朝アミール「ハ・テ・イス・イワン・マヌール」
1016年-01:00|フランス| ||<就任>オーベルニュ伯「Robert1世」(~1032年)
1016年-01:00|イタリア| ||<就任>カプア公「パントルフ4世」(~1022年)
1016年-01:00|ベルギー| ||<就任>ナミュール伯「アルベール2世」(~1067年死去)ロベール2世の弟
1016年-01:00|チェコ/アフリカ/アルゼリア| ||<即位>スィール朝アミール「アルムイッス・イワン・ハ・テ・イス」(~1062年死去)

1050迄 (1322件)

- 1016年-01:00|スペイン| |||<即位>ハムデッド朝コルトバ・カリフ「Ali ibn Hammud al-Nasir」(~10180322死去)
- 1016年-01:00|フランス| |||<即位>ブルゴニユ公「ヘンリー」(~1032年)
- 1016年 00:00|イギリス| |||<死去>ノサンバランド伯「Uhtred the Bold」
- 1016年2月-01:00|イタリア| |||<即位>カプア王パントルフ4世(アラジの狼) (~1022)
- 1016年2月11日-09:00|朝鮮/中国| ||高麗・大中祥符9年|北宋から冊封, 朝貢, 北宋の正朔を奉じる
- 1016年3月10日-09:00|日本| ||長和5年1月29日|<就任>摂政「藤原道長」(~長和6年3月16日)
- 1016年3月10日-09:00|日本| ||長和5年1月29日|<譲位>第67代「三条天皇」<踐祚>「敦成親王」
- 1016年3月18日-09:00|日本| ||長和5年2月7日|<即位>第68代「後一条天皇」敦成親王 (~10360417)
- 1016年4月23日 00:00|イギリス| |||<死去>イギリス王「エドムント2世」約48歳
- 1016年4月23日 00:00|イギリス| |||<即位>イギリス王「エドムント2世」エドムント2世とエルフリダ・オブ・ノサングリアの男子 (~11.30死去)
- 1016年5月22日-01:00|モンテネグロ/セルビア| |||<死去>トウクリヤ公「ヨヴァン・ウラジミル」
- 1016年5月22日-01:00|モンテネグロ/セルビア| |||<即位>トウクリヤ公「トウゴミル・フガリミロウイッチ」 (~1018年死去)
- 1016年8月25日-09:00|日本|京都府京都市|長和5年7月20日|京都大火, 土御門南, 京極西, 万里小路東, 二条南間の藤原道長の土御門第(上東門第), 法興院類焼, 500余戸焼失
- 1016年8月25日-09:00|日本|京都府京都市|長和5年7月20日|京都大火, 土御門南, 京極西, 万里小路東, 二条南間の藤原道長の土御門第(上東門第), 法興院類焼, 500余戸焼失
- 1016年10月-01:00|チェンジア| |||カイワーンでスナ派住民が暴動をおこし, シア派2万人を虐殺
- 1016年10月18日 00:00|イギリス/デンマーク| |||アサタンクの戦いの結果, イングランド王「エドムント2世」は, デンマーク王国クヌート大王がウェセックスを除く全イングランドを支配することを認めた条約に調印
- 1016年10月27日-09:00|日本|京都府京都市|長和5年9月24日|三条上皇の御所枇杷殿焼失
- 1016年11月30日 00:00|イギリス| |||<死去>イギリス王「エドムント2世剛勇王」36歳(誕生980年)
- 1016年11月30日 00:00|イギリス/デンマーク| |||<即位>イギリス王「クヌート大王」デンマーク王. スヴェンとクニヒルト・オブ・ホーランドの男子 (~10351112死去)
- 1017年-05:30|スリランカ| |||<廃位>アヌラダプラ王国国王「Mahinda5世」追放される
- 1017年-05:30|スリランカ| |||南インド系(タミル系)のジョーラ王朝が, ランカ島の大半を支配。シハラ王朝は, アヌラダプラからホロンマルに遷都
- 1017年-05:30|インド/インドネシア| |||シュリーヴジヤヤ王国(スマタラ島のパレンバンを中心に栄えた通商国家)ジョーラ朝ラージェントラ1世(位1012~1044)の最初の襲来/クーを奪い, 約半世紀の間マラッカ海峡を支配
- 1017年-05:00|キルギス/ウスベキスタン/中国| |||<即位>カラハン朝ハーン「マンスール・アルスラン」(~1024年)
- 1017年-05:00|ウスベキスタン| |||<即位>クワズミヤン朝シャー「Abu'l-Harith Muhammad ibn Ali」⇒「Abu Sa'id Altun-Tash」(~1032年死去)
- 1017年-03:00|イラク| |||<即位>マスヤト朝第2代アミール「テュバ・イシ1世・イブン・アリー, ヌルッダウラ」(~1082年)
- 1017年-02:00|ウクライナ| |||<即位>キエフ大公「スヴャトホルク1世」(2期目~1019年死去)
- 1017年-01:00|スペイン| |||<死去>パルセイヤ伯「ラモン・ボレイ」
- 1017年-01:00|スペイン| |||<死去>リバゴルサ伯「William Isarn」
- 1017年-01:00|フランス| |||<就任>ヴァロア伯「ラルフ3世」(~1038年)
- 1017年-01:00|スペイン| |||<即位>パレンシア・タイファ「Lab'ib」(~1019年)
- 1017年-01:00|スペイン| |||<即位>パレンシア・タイファ「Muyahid」(~1021年)
- 1017年-01:00|フランス| |||<即位>フランス王(カペー朝)「ユグ2世」(~10250917死去)
- 1017年1月31日-08:00|中国| ||宋・天禧1年|北宋の真宗趙恒が天禧(-1021年)と改元
- 1017年2月5日-01:00|スペイン| |||<死去>カスティーリャ伯「Sancho Garcia」
- 1017年2月5日-01:00|スペイン| |||<就任>カスティーリャ伯「ガルシア・サンチェス」(~1029年死去)
- 1017年3月-03:30|イラン| |||<死去>マム朝君主「Ma'mun2世」
- 1017年3月-03:30|イラン| |||<即位>マム朝君主「Abu'l-Harith Muhammad」(~同年廃位)
- 1017年4月15日-09:00|日本| ||長和6年3月16日|<就任>摂政「藤原頼通」
- 1017年5月21日-09:00|日本| ||寛仁1年4月23日|長和から寛仁に改元
- 1017年6月5日-09:00|日本| ||寛仁1年5月9日|<死去>三条天皇(42歳, 天延4(976)0103生/第67代天皇)
- 1017年6月27日-09:00|日本| ||寛仁1年5月9日|<死去>藤原遵子(生年957年, 円融天皇の中宮)
- 1017年7月27日-09:00|日本|京都府京都市|寛仁1年7月2日|寛仁元年鴨川洪水, 東悲田院流失>夜通し雨が降り鴨川の氾濫で洪水, 京極あたりは海のようになった/鴨川のほとりにあった東悲田院(医療施設, 施薬院管轄にあった社会福祉施設)に入院していた患者300人と医師, 看護人などが建物もろとも流された
- 1017年11月8日-09:00|日本|京都府京都市|寛仁1年10月17日|京都大火, 上東門大路南辺, 陽明門大路北辺で失火, 民家200余戸焼失
- 1017年12月-01:00|ドイツ/オーストリア| |||<復位>バイエルン大公「ハインリヒ5世」ルクセンブルク伯ジークフリートの息子 (~1026年死去)
- 1018年-05:30|インド| |||<即位>東チャルキヤ朝君主「ラーヂャラージヤ・ナレンドラ」(~1061年)
- 1018年-05:30|インド| |||<即位>プラティハール朝国王「トリロチャンパラ」(~1027年)
- 1018年-05:30|インド/スリランカ| |||ジョーラ朝ラージェントラ1世がセイロン, パンデヤ朝及びケーラを支配下におく
- 1018年-04:30|アフガニスタン/インド| |||カズナ朝マフムドがインド北部のカウジを攻略
- 1018年-01:00|デンマーク| |||<死去>デンマーク王「ハラル2世」
- 1018年-01:00|モンテネグロ/セルビア| |||<死去>トウクリヤ公「トウゴミル・フガリミロウイッチ」
- 1018年-01:00|ドイツ| |||<就任>ノルマルク辺境伯「ヘルムハルト2世」(~1051年死去)

1050迄 (1322件)

- 1018年-01:00|スペイン| |||<就任>パルチヤ伯「ハランゲー・ラモン1世(背曲がり伯)」ラモン・ボレイの子(~10350526死去)母親であるカカソヌ伯女ルメンダが摂政
- 1018年-01:00|フランス| |||<就任>プロヴァンス伯「ギヨーム4世」ギヨーム2世の子(~1030年), 「フルク・ベルトラン」ギヨーム2世の子(~10510427死去), 「シヨフロワ1世」ギヨーム2世の子(~1063年死去)
- 1018年-01:00|スペイン| |||<就任>リハゴルザ伯「Sancho3世」(~1035年)
- 1018年-01:00|スペイン| |||<即位>サンタ・マリア・デル・アルカレ・タイファ「Sa'id」(~1041年)
- 1018年-01:00|デンマーク| |||<即位>デンマーク王「クヌズ2世」スヴェン1世とヴェントのゲンヒルトまたはシグリスの息子(~10351112死去)
- 1018年-01:00|モンテネグロ/セルビア| |||<即位>ドゥクリヤ公「ヴォイスラヴ・ドラゴミロヴィッチ」(1回目~1036年8月)
- 1018年-01:00|スペイン| |||<即位>マジョルカ・タイファ「Mujahid al-'Amiri」(~1041年)
- 1018年-01:00|ポーランド/ロシア| |||夏、国境付近・西ブグ川を挟み、ヤロスラフ対ボレスワフ・スヴァトボルク連合の戦い/スヴァトボルクの軍は大敗/ポーランド軍はかつてウラジミールに奪われたチェルヴェン(ルシ・ポーランド国境、西ブグ川流域)を奪い返し、ポーランドに凱旋
- 1018年-01:00|オーストリア| |||ゲルマン人東方移民がウィーンを建設
- 1018年-01:00|モンテネグロ/トルコ| |||モンテネグロはビザンチンの家臣(~1077年)
- 1018年 00:00|イギリス| |||<死去>グウィネト王「イヴァン・アブ・ブレグウィド」
- 1018年 00:00|イギリス| |||グウィネト、デハハースをホイスが統治(~1023年)
- 1018年 00:00|イギリス| |||スコットランドにストラスカイトを併合
- 1018年 00:00|イギリス| |||スコットランド王マルカム2世はアングル人を平定/このころよりスコシア王国と呼ばれるようになる
- 1018年1月20日-09:00|日本| ||寛仁2年|藤原公任撰の歌集『和漢朗詠集』が完成
- 1018年1月20日-07:00|ベトナム| ||安南・順天9年|<即位>チャンパ王「ウイランタヴァルマン4世」(~1030年)
- 1018年2月-02:00|ブルガリア| |||<死去>ブルガリア帝国皇帝「イワン・ウラジスラフ」バシレイス二世(ビザンツ)がオフリタ入城、ブルガリア王国を崩壊させ全バルカン半島が再びビザンツ領となる(~1185年)
- 1018年2月-02:00|ブルガリア| |||<即位>ブルガリア帝国皇帝「プレシアン2世」(~同年、ビザンチン帝国の一部となる~1185年)
- 1018年2月-01:00|北マケドニア/トルコ/コソボ| |||マケドニア、コソボはビザンチン帝国に再編入(~1203年)
- 1018年2月11日-09:00|日本| ||寛仁2年1月23日|<任命>鎮守府将軍「平永盛」(~不詳)
- 1018年2月19日-09:00|韓国/朝鮮| ||高麗・天禧2年2月|高麗、地方行政機構を改定・整備する
- 1018年3月22日-01:00|スペイン| |||<死去>後ウマイヤ朝第6代カリフ「アブド・アッラフマン4世」
- 1018年3月22日-01:00|スペイン| |||<死去>ハムデッド朝コルトバ・カリフ「Ali ibn Hammud al-Nasir」
- 1018年3月22日-01:00|スペイン| |||<即位>ハムデッド朝コルトバ・カリフ「Al-Qasim ibn Hammud al-Ma'mu」(~1021年)
- 1018年5月29日-09:00|日本| 京都府京都市|寛仁2年閏4月12日|円教寺焼失
- 1018年6月23日-01:00|オーストリア| |||<死去>オーストリア辺境伯「ハインリヒ1世」
- 1018年6月23日-01:00|オーストリア| |||<就任>オーストリア辺境伯「アーダルベルト」(~10550526死去/70歳)
- 1018年6月29日-01:00|ベルギー| |||<死去>リエージュ公「バルデリック2世」
- 1018年6月29日-01:00|ベルギー| |||<就任>リエージュ公「ウォルボルト」(~10210410死去)
- 1018年8月2日-09:00|日本| ||寛仁2年6月18日|戊亥角に彗星出現。七星の上第四星の下二當二座に長さ1丈ばかり
- 1018年12月7日-08:00|中国/韓国/朝鮮| ||高麗・天禧2年; 契丹・開泰7年10月27日|契丹は10万の軍勢で再び高麗に侵攻/高麗側は20万の兵力を動員して姜邯賛を中心に契丹軍と戦った
- 1019年-08:00|インドネシア| |||<即位>ケティリ王国国王「アイルランガ」(~1049年)
- 1019年-08:00|インドネシア| |||<即位>スンダ・ガラア王国ハラジャ「Prabu Sanghyang Ageng」(~1030年)
- 1019年-08:00|インドネシア| |||タラン王国(~1042)ダラムヴァンジャの女婿エルランガが国を復興し、バリ島を含む東ジャワ一帯を統一
- 1019年-05:30|インド| |||ガズニ朝マフムドのカウジ占領、プラティハラ朝崩壊
- 1019年-04:00|アゼルバイジャン| |||<即位>ラデッド朝君主「Vahsudan」(~1054年)
- 1019年-03:00|ベラルーシ| |||<死去>トケロフ公「スヴァトボルク・ウラジミロヴィチ」
- 1019年-02:00|ウクライナ/ロシア| |||<死去>キエフ大公「スヴァトボルク1世」
- 1019年-02:00|ウクライナ/ロシア| |||<即位>キエフ大公「ヤロスラフ1世賢公」(2期目~1024年)
- 1019年-02:00|シリア・アラブ/トルコ| |||<即位>シャイト朝「Shabib ibn Waththab」(~1040年)
- 1019年-01:00|フランス| |||<死去>プロヴァンス伯「ギヨーム2世」
- 1019年-01:00|フランス| |||<就任>プロヴァンス伯「シヨフロワ1世」ギヨーム2世の子(~1063年)
- 1019年-01:00|フランス| |||<即位>上ロランギア公「フレリック2世」(~1026年死去)
- 1019年-01:00|イタリア| |||<即位>カルビッツ君主「al-Akhal」(~1037年)
- 1019年-01:00|スペイン| |||<即位>ハラタ・タイファ「Habbus al-Muzaffar」(~1038年)
- 1019年1月24日-08:00|中国/韓国/朝鮮| ||高麗・天禧2年; 契丹・開泰7年12月16日|契丹、高麗軍に大敗
- 1019年1月25日-09:00|日本| ||寛仁2年12月17日|<死去>敦康親王、皇族(生年999年)
- 1019年2月21日-09:00|日本| 京都府京都市|寛仁3年1月14日|藤原頼宗の四条宅焼亡
- 1019年3月10日-08:00|中国/韓国/朝鮮| ||高麗・天禧3年; 契丹・開泰8年2月|契丹-高麗亀州大戦、高麗が契丹軍を撃退
- 1019年4月25日-08:00|中国/韓国/朝鮮| ||契丹・開泰8年3月18日|契丹、軍を還す
- 1019年5月4日-08:00|中国/日本|長崎県|寛仁3年3月27日|対馬・壱岐に刀伊(女真族)が来襲し、隠岐守の藤原理忠が殺害され、島民多数が殺される

1050迄 (1322件)

1019年5月22日-08:00|中国/日本|福岡県福岡市|寛仁3年4月15日|刀伊(女真族)が博多への上陸を目指して来襲
1019年5月23日-08:00|中国/日本|福岡県福岡市|寛仁3年4月16日|刀伊(女真族)が博多警固所を襲撃/太宰権帥藤原隆家の率いる兵は勇戦奮闘し撃退
1019年5月26日-08:00|中国/日本|福岡県福岡市|寛仁3年4月19日|刀伊(女真族)が再び早良・志摩両郡を襲ったが土着の武士に撃退された
1019年6月4日-09:00|日本| ||寛仁3年4月28日|<死去>安倍吉昌、平安時代の陰陽師、陰陽家(生年955年)
1019年9月7日-08:00|中国/韓国/朝鮮| ||契丹・開泰8年;高麗・天禧3年8月6日|契丹、高麗を攻める
1019年9月19日-09:00|日本|京都府京都市|寛仁3年8月18日|白河院焼亡
1019年10月6日-01:00|ルクセンブルグ/フランス| ||<死去>アルテンヌ伯「フリドリヒ」
1020年-05:00|キルギス/ウズベキスタン/中国| ||<即位>カラハン朝ハン「Ali Tigin Bughra Khan」(~1034年死去)
1020年-04:00|アルメニア| ||<即位>バグラトゥニ朝アルメニア王「ホムハニス・スムハト3世」(~1040年)
1020年-03:00|イェメン| ||<死去>ラッシー朝イマム「アルムアヤト・アフマド・ヒン・アルフェイン」
1020年-03:00|イェメン| ||<即位>ラッシー朝イマム「アフ・タリフ・ヤヤ」アルムアヤト・アフマド・ヒン・アルフェインの兄弟(~1033年死去)
1020年-01:00|クワチア| ||<死去>クワチア王「ゴイヌラフ」
1020年-01:00|フランス| ||<死去>シャンパニュ伯・トリアーモ伯「エティエンヌ1世」
1020年-01:00|スペイン| ||<死去>ベサル伯「Bernard1世」
1020年-01:00|スペイン| ||<即位>ベサル伯「William1世」(~1052年)
1020年-01:00|イタリヤ| ||<即位>スレート公「フガ2世」(~1035年)
1020年-01:00|スペイン| ||<即位>トレド・タイファ「Abd ar-Rahman」(~1028年)
1020年-01:00|イタリヤ| ||ルマン人、南イタリヤに侵入
1020年 00:00|イギリス| ||<即位>ウエセックス伯・ケント伯「ゴトウイン」(~10530415死去)
1020年 02:00|グリーンランド/アイスランド| ||<死去>グリーンランド統治者「Leifr Eiriksson」
1020年 02:00|グリーンランド/アイスランド| ||<即位>グリーンランド統治者「Thorgils Leifsson」
1020年1月19日-09:00|日本| ||寛仁3年12月22日|<即位>関白「藤原頼通」(~治暦3年12月5日)
1020年3月24日-09:00|日本|京都府京都市東山区|寛仁4年2月27日|藤原道長が無量寿院(法成寺阿弥陀堂)を建立し、仏師康尚・定朝作9体の丈六阿弥陀如来像を安置
1020年6月14日-08:00|中国/韓国/朝鮮| ||契丹・開泰9年;高麗・天禧4年5月20日|契丹と高麗、講和なる
1020年7月26日-09:00|日本| ||寛仁4年7月4日|<死去>道命(生年974年/僧、歌人)
1020年10月20日-09:00|日本|京都府京都市|寛仁4年10月2日|藤原頼道の上東門第焼亡
1020年11月12日-08:00|中国/イラク| ||契丹・開泰9年10月25日|大食、契丹に使を遣わし象および方物を進め、王子のために婚を請う
1021年-05:30|インド| ||チョーラ朝ラージェントラ1世ががチャルキヤ朝ジャヤシハ2世を撃破
1021年-04:30|アフガニスタン| ||<死去>ブワイフ朝(ハマダーン政権)アミール「シャムス・ウダウラ」
1021年-04:30|アフガニスタン| ||<即位>ブワイフ朝(ハマダーン政権)アミール「サマール・ウダウラ」(~1023年)
1021年-04:00|アルメニア| ||<即位>バグラトゥニ朝アルメニア王「アショット4世」共同統治(~1039年)
1021年-04:00|ロシア| ||ブリチェスラフはウゴロクを攻撃してこれを占拠/ヤロスラフはボロツクの手にてブリチェスラフ軍に勝利
1021年-03:00|イラク/イラン| ||<即位>ブワイフ朝(イラク地方・ケルマン地方)アミール「ムシャリフ・ウダウラ」ハル・ウダウラの子(~1025.5死去)
1021年-03:00|イラク/イラン| ||<退位>ブワイフ朝(イラク地方・ケルマン地方)アミール「スルタン・ウダウラ」
1021年-01:00|スペイン| ||<即位>ハムデッド朝コルトバ「カリフ」Yahya ibn Ali ibn Hammud al-Mu'tali(~1023年)
1021年-01:00|スペイン| ||<即位>ハレジア・タイファ「Abd al-'Aziz」(~1061年)
1021年2月13日-01:00|チュニジア/エジプト| ||<死去>ファーティマ朝第6代カリフ「アルハキム・ヒン・アミール・アラ」カイロの東方モカッタムの丘で行方不明
1021年2月13日-01:00|チュニジア/エジプト| ||<即位>ファーティマ朝第7代カリフ「アズ=ザ=ヒル」(~10360613死去)
1021年2月13日-09:00|日本|鹿児島県|寛仁4年閏12月29日|南蛮の賊徒が薩摩国に来て人民を虜掠
1021年3月17日-09:00|日本| ||治安1年2月2日|寛仁から治安に改元
1021年4月10日-01:00|ベルギー| ||<死去>リエージュ公「ウオルスト」
1021年4月10日-01:00|ベルギー| ||<即位>リエージュ公「テュランドゥス」(~10250123死去)
1021年4月15日-08:00|中国/イラク| ||契丹・開泰10年3月|大食、ふたたび使を遣わし、婚を請う/契丹、宗室の女を公主として嫁がせる
1021年5月19日-09:00|日本|京都府京都市|治安1年4月5日|小一条院の高松第焼亡
1021年8月11日-09:00|日本| ||治安1年7月1日|日蝕
1021年12月18日-08:00|中国| ||契丹・太平1年11月12日|契丹の聖宗が太平(-1030年)と改元
1021年12月24日-09:00|日本|京都府京都市|治安1年11月18日|藤原齊信第焼亡
1022年-05:30|インド| ||チョーラ朝がオリッサとベンガルへ遠征
1022年-04:00|ロシア| ||ムスチスラフは北カカスに攻め入ってカギ人を攻撃し勝利してカギの地に貢税を押しつけることに成功
1022年-01:00|スウェーデン| ||<死去>スウェーデン王国国王「オーロフ・ストクヌン」
1022年-01:00|フランス| ||<即位>トリアーモ伯「ウート3世」兼シャンパニュ伯・モリアーコ伯「ウート1世」エティエンヌ1世の再従兄弟(~10371115死去)ブリアーコ伯
1022年-01:00|フランス| ||<即位>ヌルバール伯「Adalbert2世」(~1033年)
1022年-01:00|イタリヤ| ||<即位>カプア公「パングラフ5世」「ヨハン」(~1026年)

1050迄 (1322件)

- 1022年-01:00|スウェーデン| |||<即位>スウェーデン王国国王「アーヌド・ヤコブ」(~1050年死去)
- 1022年-01:00|スペイン| |||<即位>ハダス・タイフ「Abd al-Aziz ibn Sabur al-Saqlabi」 「Abd al-Malik ibn Sabur al-Saqlabi」⇒「Abdallah ibn Muhammad ibn Maslamah ibn al-Aftas」(~1044年)
- 1022年-01:00|スペイン| |||<即位>リスボン・タイフ「Abd al-Aziz ibn Sabur」(~1030年)
- 1022年-01:00|フランス| |||<退位>ヌ伯「Gerhard3世」(~1024年死去)
- 1022年1月6日-01:00|フランス| |||<死去>ヴェルダン伯「フレリック」
- 1022年1月6日-01:00|フランス| |||<就任>ヴェルダン伯「Herman」(~1024年退位~1029年死去)
- 1022年1月30日-09:00|日本| ||治安1年12月26日|平為幹は前年7月の罪を許される
- 1022年2月4日-08:00|中国| ||大理・明啓13年|<死去>前大理第7代皇帝「宣肅帝(段素廉)」
- 1022年2月4日-08:00|中国| ||大理・明啓13年|<即位>前大理第8代皇帝「秉義帝(段素隆)」(~1026年讓位)
- 1022年2月4日-08:00|中国| ||宋・乾興1年|宋の真宗趙恒が乾興(1022年)と改元
- 1022年3月4日-09:00|日本| ||治安2年1月29日|<任命>鎮守府将軍「藤原頼行」(~不詳)
- 1022年3月23日-08:00|中国| ||宋・乾興1年2月19日|<死去>北宋第3代皇帝「真宗」[968年12月02日生~](享年53)
- 1022年3月23日-08:00|中国| ||宋・乾興1年2月19日|<即位>北宋第4代皇帝「仁宗」(~嘉祐8年3月29日(1063年4月30日)死去)
- 1022年5月4日-09:00|韓国/朝鮮| ||高麗・太平2年4月|高麗、契丹年号(大平2年)に復す
- 1022年8月14日-09:00|日本|京都府京都市東山区|治安2年7月14日|道長が法成寺(無量寿院から改める)金堂の落慶法要を挙行
- 1022年9月2日 00:00|アイルランド| |||<死去>アイルランド 上王「モル・セシュリン・モル・マック・ド・ムネイル」
- 1022年12月2日-09:00|日本|滋賀県大津市|治安2年11月2日|崇福寺焼失
- 1023年-03:30|イラン| |||イファハンのカークイ朝がハマダーンを占領
- 1023年-03:00|タンザニア| |||<即位>キルワ・スルタン「Ali ibn Dawud1世」(~1083年)
- 1023年-01:00|ロシア| |||<就任>ヒザンチンのラヴ・ザ 総督「ランビ・デ・イオ」(~1036年)
- 1023年-01:00|フランス| |||<即位>下ロランギア公「ゴ・デ・ロン1世」(1033年兼上ロランギア公~1044年)
- 1023年-01:00|スペイン| |||<即位>後ウマイヤ朝第7代カリフ「アブド・アッラフマン5世」(~1024年死去)
- 1023年-01:00|スペイン| |||<即位>カモチ・タイフ「Muhammad」(~1042年)
- 1023年-01:00|スペイン| |||<即位>ニブラ・タイフ「Abu' l-Abbas Ahmad」(~1041年)
- 1023年-01:00|フランス| |||<退任>シャルトル伯「ウート2世」
- 1023年-01:00|スペイン| |||<復位>ハムデ・イット 朝コルトバ・カリフ「Al-Qasim ibn Hammud al-Ma'mu」(~1023年)
- 1023年-01:00|ドイツ| |||ヴォルムスでフルヒャルトの荘園法(ファミリア法)が成立
- 1023年 00:00|イギリス| |||<死去>ホイス王「ルウェリン・アブ・サイル」
- 1023年 00:00|イギリス| |||<即位>Ternyllwg王「Cynan ap Seisyll」(~1027年)
- 1023年 00:00|イギリス| |||<即位>グウィネト王「イゴ・アブ・イドル」(~1039年死去)
- 1023年 00:00|イギリス| |||ホイスをデハバースが統治(~1033年)
- 1023年1月25日-08:00|中国| ||北宋の天聖1年|宋が紙幣の発行を官営化
- 1023年1月25日-08:00|中国| ||宋・天聖1年|宋の仁宗趙禎が天聖(-1032年)と改元
- 1023年1月25日-08:00|中国| ||大理・明通1年|大理国の段素隆が明通(-1026年)と改元
- 1023年8月-01:00|スペイン| |||コルトバとセリヤで市民が反乱し、ベルツル人を追放
- 1023年8月19日-09:00|日本| ||治安3年8月|<任命>鎮守府将軍「源頼信」(~不詳)
- 1023年9月29日-09:00|日本| ||治安3年9月12日|<死去>当子内親王(生年1001年/皇族、伊勢斎宮)
- 1023年11月27日-09:00|日本| ||治安3年10月12日|<死去>源経房(生年969年/公卿、歌人)
- 1023年12月-04:30|アフガニスタン/インド| |||ガズナ朝マムートがインドのソムナト寺院を攻略
- 1024年-05:30|インド| |||<即位>プラーイーハラ朝国王「ヤンハ・ラ」(~1036年)
- 1024年-05:30|インド| |||ガズナ朝マムート、ソムナト寺院を攻略(~1026)
- 1024年-05:00|キルギス/ウズベキスタン/中国| |||<即位>カラハン朝ハン「Muhammad Toghan Khan」(~1026年)
- 1024年-04:00|ロシア| |||チェルニコフ北方のリストバンで戦闘/セウエルがヤロスラフ、ヤクンのヴァリャーク軍団らに勝利/ヤロスラフはキエフを家臣に委ねてヴゴロトへ去り、ヤクンはバルト海の向こうに帰った
- 1024年-02:00|ウクライナ/ロシア| |||<即位>キエフ大公「Mstislav Vladimirovich1世 "Khrabryy"」(~同年)⇒「ヤロスラフ1世賢公」(3期目~10540220死去)
- 1024年-02:00|ウクライナ/ロシア/ベラルーシ| |||<即位>チェルニヒウ公「ムスチスラフ・ウラジミロヴィチ」(~1035年死去)
- 1024年-01:00|スペイン| |||<死去>後ウマイヤ朝第7代カリフ「アブド・アッラフマン5世」
- 1024年-01:00|フランス| |||<就任>ヴェクサン伯「Drogo」(~1035年)
- 1024年-01:00|フランス| |||<就任>ヴェルダン伯「Louis」(~10250929殺される)
- 1024年-01:00|スペイン| |||<即位>後ウマイヤ朝第8代カリフ「ムハンマド3世」(~1025年毒殺される)
- 1024年-01:00|フランス| |||<退位>ヴェルダン伯「Herman」(~1029年死去)
- 1024年2月5日-09:00|日本|京都府京都市|治安3年12月23日|群盗、藤原資業の京宅焼く
- 1024年2月13日-09:00|韓国/朝鮮| ||高麗・太平4年|高麗、開城の五部坊里(王都の区画の制度)を改定
- 1024年3月29日-09:00|日本|京都府京都市|治安4年2月17日|京都大火/土御門南、近衛北、西洞院東辺焼亡
- 1024年4月9日-01:00|パチン| |||<死去>第143代ローマ教皇「ベネディクトゥス8世」
- 1024年4月11日-09:00|日本|京都府京都市|治安4年3月1日|京都大火/二条堀河東北100余家焼亡
- 1024年5月2日-09:00|日本|京都府京都市|治安4年3月22日|法成寺僧坊60余間焼亡
- 1024年5月14日-01:00|パチン| |||<就任>第144代ローマ教皇「ヨハネス19世」(~10321009)

1050迄 (1322件)

1024年6月24日-01:00|イタリア| |||イタリアの修道士グイト・ダレツォがドレミ音階発見
1024年7月13日-01:00|ドイツ/オーストリア/フランス/イタリア| |||<死去>フランク・ローマ帝国皇帝・イタリア王「ハインリヒ2世聖王(エンリコ2世)」51歳(誕生:09730506)子を持たずに病没し、ザクセン王家は断絶
1024年8月19日-09:00|日本| ||万寿1年7月13日|治安から万寿に改元
1024年9月8日-01:00|ドイツ| |||<即位>ドイツ王「コンラート2世」オットー1世の玄孫(⇒10260323、兼イタリア王)
1024年12月-03:30|イラン| |||<死去>ブワイフ朝(ファールス地方)アミール「スルタン・ウッタウラ」
1024年12月-03:30|イラン| |||<即位>ブワイフ朝(ファールス地方)アミール「アブー・カーリズヤール」スルタン・ウッタウラの子(~1048.10死去)
1024年12月26日-09:00|日本|滋賀県大津市|万寿1年11月23日|近江国の勢多橋焼失
1025年-07:00|カンボジア/タイ| |||クメール王国が西方のタイ方面へ領土を拡大
1025年-05:30|インド/インドネシア/マレーシア| |||南インドのチョーラ朝はシュリーガ・イジャヤ本国(つまりパレンバン)を襲って国王を捕らえ、財宝を掠奪し、各地を攻撃/パレンバンとクダはほぼ壊滅
1025年-01:00|フランス| |||<就任>ヴァロア伯「ラルフ4世」(~1074年死去)
1025年-01:00|ニジェール| |||<即位>ソンガイ王国国王「コサイ・タリヤ」(~1044年)
1025年-01:00|スペイン| |||<廃位>後ウマイヤ朝第8代カリフ「ムハンマド3世」逃亡中に家臣によって毒殺される
1025年-01:00|スペイン| |||<復位>後ウマイヤ朝カリフ「Yahya ibn Ali ibn Hammud al-Mu'tali」(~1026年)
1025年-01:00|ドイツ/マケドニア| |||ドイツ王コンラート2世がシュレスヴィヒ辺境領をクヌート王に譲渡
1025年1月2日-09:00|韓国/朝鮮| ||高麗・太平4年12月|高麗・州県選挙の法を定める
1025年1月18日-02:00|シリア/アラブ| |||<即位>ミダース朝アミール「アブ・アリ・サリフ・イブン・ミダース」アレックを攻略し建国(~10290512死去)
1025年1月23日-01:00|ベルギー| |||<死去>リエージュ公「テュランドゥス」
1025年1月23日-01:00|ベルギー| |||<就任>リエージュ公「レジナルド」(~10371205死去)
1025年2月25日-09:00|日本|京都府京都市|万寿2年1月25日|四条宮焼亡
1025年4月18日-01:00|ポーランド| |||<公称>ポーランド公「ボレスワフ1世ワグメリ」⇒ポーランド王(~10250617死去)
1025年4月25日-09:00|日本| ||万寿2年3月25日|<死去>藤原せい子(生年972年、三条天皇の皇后)
1025年5月-03:00|イラク/イラン| |||<死去>ブワイフ朝(イラク地方・ケルマン地方)アミール「ムシャリフ・ウッタウラ」
1025年6月17日-01:00|ポーランド| |||<死去>ポーランド王「ボレスワフ1世ワグメリ」
1025年7月6日-09:00|日本|京都府京都市|万寿2年6月9日|菅原院東野焼亡
1025年8月5日-09:00|日本| ||万寿2年7月9日|<死去>藤原寛子、敦明親王の妃(生年999年)
1025年9月17日-01:00|フランス| |||<死去>フランス王(カペー朝)「ユーク2世」
1025年9月26日-03:00|イラク/韓国/朝鮮| ||高麗・太平5年9月2日|高麗に大食国(アラブ)人、100人來たり土産をもたらす
1025年9月29日-01:00|フランス/ベルギー| |||<死去>ヴェルダン伯・シニ伯「Louis1世」殺される
1025年9月29日-01:00|フランス| |||<就任>ヴェルダン伯「Godfrey3世」(~1069年死去)
1025年9月29日-01:00|ベルギー| |||<就任>シニ伯「Louis2世」(~1066年)
1025年12月25日-02:00|トルコ| |||<死去>東ローマ帝国皇帝(マケドニア朝)「バシレイオス2世ブルガロクトス(ブルガリア人殺し)」
1025年12月25日-02:00|トルコ| |||<即位>東ローマ帝国皇帝(マケドニア朝)「コンスタンティノス8世」ロマノス2世とテオファノの次男/長く共同皇帝の座にあったが、兄が子供を残さずに死去したため正帝に即位(~10281115死去)
1025年12月25日-01:00|ポーランド| |||<即位>ポーランド王「ミェシュコ2世ランベルト」ボレスワフ1世の息子(~1031年亡命)
1026年-05:30|インド| |||<即位>ホイヤ朝国王「ヌリハ・カマ」(~1047年)
1026年-05:00|パキスタン/ウズベキスタン/中国| |||<即位>カラハーン朝ハン「Yusuf Qadir Khan」(~1032年)
1026年-05:00|パキスタン| |||<即位>スムラ朝君主「Soomar」(~1030年)
1026年-01:00|ドイツ/オーストリア| |||<死去>バインズ大公「ハインリヒ5世」
1026年-01:00|イタリア| |||<就任>ヴェネツィア共和国第28代ドージェ(元首)「ヒエトロ・チェントラニコ」(~1030年)
1026年-01:00|スペイン| |||<即位>後ウマイヤ朝第9代カリフ「ヒシャム3世」(~1031年)
1026年-01:00|ドイツ/オーストリア| |||<即位>バインズ大公「ハインリヒ6世黒王」ローマ皇帝コンラート2世の息子(1039年ローマ皇帝ハインリヒ3世~1042年)
1026年-01:00|スペイン| |||<即位>マラガ・タイファ「Yahya1世al-Mu'tali」(~1035年)
1026年-01:00|イタリア| |||<復位>カプア公「ハントラルフ4世」(2期目~1038年)
1026年1月22日-08:00|中国| ||大理・明通4年|<譲位>前大理第8代皇帝「秉義帝(段素隆)」
1026年1月22日-08:00|中国| ||大理・明通4年|<即位>前大理第9代皇帝「聖徳帝(段素真)」(~1041年譲位)
1026年2月27日-01:00|ルクセンブルク/フランス| |||<死去>アルテンヌ伯「ハインリヒ1世」
1026年2月27日-01:00|ルクセンブルク/フランス| |||<就任>アルテンヌ伯「ハインリヒ2世」バインズ王ハインリヒ6世(~10471014没)
1026年2月27日-01:00|ルクセンブルク| |||<就任>ルクセンブルク伯「ハインリヒ2世」ハインリヒ1世の甥(~10471016死去)
1026年3月23日-01:00|イタリア| |||<即位>イタリア王「コンラート2世」ドイツ王(⇒10270326、フランク・ローマ帝国皇帝)
1026年4月11日-01:00|フランス| |||<死去>上ロタリンギア公・バル伯「ティエリ1世」
1026年4月11日-01:00|フランス| |||<即位>上ロタリンギア公・バル伯「フレリク2世」⇒「フレリク3世」(~1033年死去)
1026年6月10日-09:00|日本|島根県|万寿3年5月23日|<万寿地震>石見国(島根県益田市)の日本海沖で巨大な地震津波が発生し、沿岸の各村落に襲来して未曾有の被害をもたらした(M7.5~7.8)、死者1,000人以上と推定
1026年8月28日-01:00|フランス| |||<死去>ルマンティエ公「リシャール2世善良公」
1026年8月28日-01:00|フランス| |||<即位>ルマンティエ公「リシャール3世」(~10270806死去)
1026年9月21日-01:00|フランス| |||<死去>ブルゴニユ伯「オットキヨム」
1026年9月21日-01:00|フランス| |||<就任>ブルゴニユ伯「ルノー1世」オットキヨムの息子(~10570903死去)

1050迄 (1322件)

- 1027年-07:00|タイ| |||<即位>アーンタイ王国第12代国王「サイナムン王」(~1056年)
- 1027年-05:30|インド| |||<即位>ハラ朝国王「ナハハラ」(~1043年)
- 1027年-05:00|ウズベキスタン/アフガニスタン| |||<即位>ガズナ朝マフムドが中央アジアに進出しセルジューク勢を破る
- 1027年-03:00|イラク/イラン| |||<即位>ブワイフ朝(イラク地方・ケルマン地方)アミール「ジャラル・ウダウラ」ハハ・ウダウラの子(~1044.3死去)
- 1027年-03:00|イェメン| |||<即位>ラッシー朝イマム「アルムト・リディン・イラー」(~1030年死去)
- 1027年-01:00|イタリヤ| |||<死去>サルノ公「ガマル3世」
- 1027年-01:00|イタリヤ| |||<即位>トスカナ辺境伯「ホニファチョ4世」(~10520506暗殺される)
- 1027年-01:00|イタリヤ| |||<即位>サルノ公「ガマル4世」(~10520602死去)
- 1027年-01:00|スペイン| |||<即位>シルベスタファ「Isa1世」(~1040年)
- 1027年-01:00|イタリヤ| |||<即位>トレント司教公「Ulrich2世」(~1055年)
- 1027年 00:00|イギリス| |||<即位>Ternyllwg王「Gruffydd ap Llywelyn」(~10630805死去)
- 1027年1月28日-09:00|日本| ||万寿3年12月18日|<死去>安倍吉平(生年954年、陰陽師)
- 1027年2月10日-08:00|中国| ||大理・正治1年|大理国の段素真が正治(-1041年)と改元
- 1027年2月12日-09:00|日本|京都府京都市|万寿4年1月3日|<京都万寿4年の大火>中御門大路の富小路から出火して千余家を焼亡/法興院や安養院も焼けた
- 1027年3月26日-01:00|ドイツ/イタリヤ/オーストリア/チェコ| |||<即位>フランク・ローマ帝国皇帝「コンラート2世」イタリヤ王(⇒10330202、兼フランク王)
- 1027年7月-03:00|イラク| |||ハスラのアッタウラがトルコ軍人の要求で再度大アミールに就く
- 1027年8月5日-08:00|中国| ||契丹・太平7年7月1日|契丹、法令を更定
- 1027年8月6日-01:00|フランス| |||<死去>ノルマンディー公「リシャル3世」
- 1027年8月6日-01:00|フランス| |||<即位>ノルマンディー公「ロベール1世(ロベール2世)華麗公・悪魔公」(~10350703死去)
- 1027年8月16日-04:00|ジョージア| |||<死去>グルジア国王「ジョージ1世」
- 1027年8月16日-04:00|ジョージア| |||<即位>グルジア国王「バグラト4世」(~10721124死去)
- 1027年10月16日-09:00|日本| ||万寿4年9月14日|<死去>藤原妍子(生年994年、三条天皇中宮)
- 1027年11月-04:00|アゼルバイジャン/ロシア| |||<死去>シルヴァンシャー朝国王「Yazid3世」
- 1027年11月-04:00|アゼルバイジャン/ロシア| |||<即位>シルヴァンシャー朝国王「Manuchehr1世」前王の息子(~1034年死去)
- 1028年-05:30|インド| |||<即位>チャラ朝ラージェントラ1世がチャララムに大寺院を建立
- 1028年-01:00|アルジェリア| |||<死去>ハンマド朝スルタン「ハンマド」
- 1028年-01:00|フランス| |||<即位>ヌヴェール伯「Renaud1世」(~10400529)
- 1028年-01:00|イタリヤ| |||<即位>アマルフィ公「Manso2世」(~1029年)摂政「マリア」母(~1029年)
- 1028年-01:00|スペイン| |||<即位>アルメリア・タイファ「Zuhayr」
- 1028年-01:00|スペイン| |||<即位>トレド・タイファ「Abd al-Malik」⇒「Abu Bakr Ya' is ibn Muhammad」(~1031年)
- 1028年-01:00|アルジェリア| |||<即位>ハンマド朝スルタン「アルカイド」(~1054年死去)
- 1028年-01:00|イタリヤ| |||<即位>アマルフィ公「セルギウス2世」
- 1028年 00:00|ポルトガル| |||<死去>ポルトガール伯「ヌノ・アルヴァイス」
- 1028年 00:00|ポルトガル| |||<即位>ポルトガール伯「メント・ヌス」(~1052年死去)
- 1028年 00:00|チャンネル諸島/フランス| |||ホルターニ島はモンサンミッシェル修道院の所有(1028年・1034年にノルマンディー公から修道院に授与~1057年)
- 1028年 00:00|チャンネル諸島/フランス| |||ジエソ島がノルマンディーのロベール公爵からレストランウルト提督に贈られました
- 1028年1月3日-09:00|日本| ||万寿4年12月4日|<死去>藤原行成(生年972年/公家、三蹟の一人)
- 1028年1月3日-09:00|日本| ||万寿4年12月4日|<死去>藤原道長(生年966年/公卿、摂政・関白・太政大臣)
- 1028年1月30日-08:00|中国| |||<即位>タングートがウイグルを討滅
- 1028年3月29日-09:00|日本| ||万寿5年3月1日|日蝕あり
- 1028年3月31日-07:00|ベトナム| ||大越・天成1年3月3日|<死去>李朝大瞿越初代皇帝「太祖李公蘊」
- 1028年4月1日-07:00|ベトナム| ||大越・天成1年3月4日|<即位>李朝大瞿越第2代皇帝「太宗李仏瑪」(~10541103死去)天成と改元(-1034)
- 1028年4月14日-01:00|ドイツ| |||<即位>ドイツ王「ハインリヒ3世」コンラート2世の息子(⇒10390604、フランク・ローマ帝国皇帝・イタリヤ王)
- 1028年6月29日-09:00|日本|千葉県南房総市|万寿5年6月5日|東国で平忠常が安房の国府を襲い、国守・源惟忠を殺害(平忠常の乱)
- 1028年7月4日-01:00|スペイン| |||<死去>レオン国王「アルフォンソ5世」
- 1028年7月4日-01:00|スペイン| |||<即位>レオン国王「ベルムート3世」(~10370904死去)
- 1028年8月18日-09:00|日本| ||長元1年7月25日|万寿から長元に改元
- 1028年9月23日 05:00|日本|京都府|長元1年9月3日|<長元元年近畿暴風雨>未の刻(14時ごろ)から申の刻(16時ごろ)にかけて大風が吹き、京市中の家屋が多数倒潰/富小路以東の鴨川沿いの地域は氾濫による洪水で一面海となり、多くの人家が沈み、上東門院や法成寺も浸水
- 1028年10月5日 05:00|日本|京都府京都市|長元1年9月15日|閑院焼亡
- 1028年11月-01:00|ノルウェー/デンマーク| |||<即位>ノルウェー王「ハコン・エイリクソン総督」(~1029年10月没)
- 1028年11月-01:00|ノルウェー| |||<即位>ノルウェー王「オラヴ2世ハラルト・ソフ・ソフ」(~10300729死去)
- 1028年11月-01:00|ノルウェー/デンマーク| |||ノルウェーはデンマークの支配下(~1035年)
- 1028年11月10日 05:00|日本|京都府京都市|長元1年10月21日|待賢門北、京極以西焼亡

1050迄 (1322件)

- 1028年11月12日 05:00|日本|京都府京都市|長元1年10月23日|鴨院焼亡
- 1028年11月15日-02:00|トルコ| |||<死去>東ローマ帝国皇帝(マケドニア朝)「コンスタンティノス8世」
- 1028年11月15日-02:00|トルコ| |||<即位>東ローマ帝国皇帝(マケドニア朝)「ロマノス3世アルギュロス」名門文官貴族の元老院議員・首都長官。コンスタンティノス8世の次女のゾエの婿/コンスタンティノス8世の死後、皇帝に即位(~10340411死去)
- 1028年11月27日-09:00|日本|京都府京都市|長元1年11月9日|枇杷殿焼失
- 1029年-04:30|アフリカ| |||<死去>フワフ朝(ライ政権)アミール「マジュド・ウッタウラ」
- 1029年-04:30|アフリカ| |||<即位>ナシリド朝マリク「Tadj al-Din1世Abu l-Fadl Nasr」(~1073年)
- 1029年-03:30|イラン| |||<即位>スィヤール朝第6代国王アヌーシールワン・ブン・ヌヌーフ(1043年/1049年)
- 1029年-01:00|スペイン| |||<死去>カスティリア伯「ガルシア・サンチェス」暗殺される
- 1029年-01:00|イタリア| |||<就任>エスティ境界伯「アルベルト・アッツォ2世」(~10970820死去)
- 1029年-01:00|スペイン| |||<就任>カスティリア伯「Ferdinand Sanchez」(~10651224死去)
- 1029年-01:00|フランス| |||<就任>メス・パレティン伯「Godefroy」(~1056年死去)
- 1029年-01:00|ドイツ/オランダ| |||<就任>ユリヒ伯「ゲルハルト2世」(~1081年)
- 1029年-01:00|イタリア| |||<即位>アルフィ公「ジヨン2世」(~1034年)
- 1029年-01:00|チェコ/スロバキア/ハンガリー| |||<即位>モラヴィア公「フレスラフ1世」(~1034年5月)
- 1029年1月18日-09:00|韓国/朝鮮| ||高麗・太平9年|高麗の開城の羅城が21年を要して完成
- 1029年1月18日-07:00|ベトナム| ||大越・天成2年|大越・タウイ運河を掘削
- 1029年5月12日-02:00|シリア・アラブ| |||<死去>ミダース朝アミール「アブ・アリ・サリフ・イブン・ミダース」
- 1029年5月12日-02:00|シリア・アラブ| |||<即位>ミダース朝アミール「Shibl al-Dawla」(~10380522死去)
- 1029年8月14日-01:00|ルクセンブルグ| |||<死去>アルデンヌ伯「ギゼルベルト2世」
- 1029年9月13日-08:00|中国| ||興遼・天慶1年8月3日|<即位>興遼王「大延琳(天慶)」東京(遼陽)で自立(~1030年遼に鎮圧され滅亡)、年号を天慶(1029-1030)とする
- 1029年10月-01:00|ルウェー/デンマーク| |||<死去>ルウェー王「ハコン・エイリクソン総督」
- 1029年10月-01:00|ルウェー/デンマーク| |||<即位>ルウェー王代行「トロンハイム司教シグルド」(~1030年9月)
- 1029年10月24日-09:00|日本|京都府京都市|長元2年9月15日|子代小路六角小路焼亡
- 1029年10月30日-09:00|日本|京都府船井郡京丹波町|長元2年9月21日|<創建>九手神社(京丹波町)
- 1030年-08:00|インドネシア| |||<即位>スダガラ王国マハラジャ「Prabu Detya Maharaja Sri Jayabupati」(~1042年)
- 1030年-07:00|ベトナム| ||安南・順天9年|<即位>チャンパ王「ジャヤ・シンハヴァルマン2世」(~1044年)
- 1030年-05:30|インド| |||<即位>カーカティヤ朝国王「ブローラ1世」(~1075年)
- 1030年-05:30|インド| |||この頃、チョーラ朝ラージェントラ1世、ガンガイコング・チョーララムに大寺院を建立
- 1030年-05:30|インド| |||ヒールニーの「インドの書」が成る
- 1030年-04:00|ロシア| |||ヤロスラフはまず西ブグ川上流にあるベルスの街を占領し、次いでバルト地方に兵を進めてユリエフ(現・タルトゥ、エストニアの都市)を建設
- 1030年-03:00|イェメン| |||<死去>ラッシー朝イマム「アルムイト・リディン・イラー」
- 1030年-02:00|ウクライナ| |||クリミアはクマン・キプチャクが支配(~1239年)
- 1030年-01:00|クロアチア| |||<死去>クロアチア王「クレシミル3世」
- 1030年-01:00|イタリア| |||<就任>アヴェルサ伯「Rainulf1世」(~1045.6死去)
- 1030年-01:00|フランス| |||<就任>ヒューゴール伯「Gersenda」(~1038年)、「Bernard1世」(~1034年)
- 1030年-01:00|スペイン| |||<即位>アルブエンテ・タイファ「Muhammad1世Yumn ad-Dawla」(~1042年)
- 1030年-01:00|クロアチア| |||<即位>クロアチア王「ステイェン1世」クライミル3世の息子(~1058年死去)
- 1030年-01:00|スペイン| |||<即位>リスボン・タイファ「Abd al-Malik ibn Sabur」(~1034年)
- 1030年-01:00|スペイン| |||メリヤの王国(タイファ)がコルドバから独立(~1080年)
- 1030年-01:00|リヒテンシュタイン/オーストリア| |||リヒテンシュタインはウンター・ラティエン(フォアアールベルク州)の一部(~12601108)
- 1030年1月31日-01:00|フランス| |||<死去>アキテーヌ公「ギヨーム5世」兼ホワティエ伯「ギヨーム3世」
- 1030年1月31日-01:00|フランス| |||<即位>アキテーヌ公「ギヨーム6世」兼ホワティエ伯「ギヨーム4世」(~1038.3死去)
- 1030年3月-02:00|エストニア/ロシア| |||ロシアがトルハット(タルトゥ)を占領(~1061年)
- 1030年4月13日-09:00|日本|京都府京都市|長元3年3月8日|上東門院彰子御所三条宮焼失
- 1030年4月30日-04:30|アフリカ| |||<即位>ガズナ朝君主「ムハムド」(~1031年)
- 1030年5月5日-09:00|日本|京都府京都市|長元3年4月|源濟政宅焼亡
- 1030年8月17日-01:00|ドイツ/スイス| |||<死去>シュヴァーベン大公「エルスト2世」
- 1030年8月17日-01:00|ドイツ/スイス| |||<即位>シュヴァーベン大公「ヘルマン4世」(~1038.7死去)
- 1030年9月-01:00|ルウェー/デンマーク| |||<就任>ルウェー摂政「アルフィク」(~1035年)
- 1030年9月-01:00|ルウェー/デンマーク| |||<即位>ルウェー王「クヌズ大王」デンマーク王カヌート2世(~10351112没)、「スヴェイン・クヌツソン」(~1035年)
- 1030年9月25日-08:00|中国| ||契丹・太平10年;興遼・天慶2年8月25日|<廃位>興遼王「大延琳(天慶)」東京遼陽府が遼軍に制圧され虜囚となる/興遼滅亡
- 1030年11月19日-09:00|日本|埼玉県川越市|長元3年10月21日|源頼信、軍勢を引率いて武蔵国河越で、忠常の弟陸奥守忠頼・中村五郎忠将と戦う/忠頼兄弟、利なくして退く
- 1030年11月27日-09:00|日本|京都府京都市上京区|長元3年10月29日|藤原頼通が法成寺の五重塔を供養
- 1031年-05:30|インド| |||アブー・山のジャイフ教がイマラ寺院が建立
- 1031年-05:30|インド/アフリカ| |||ガズナ朝マフムド、パソジャーフを領土とする
- 1031年-04:30|アフリカ| |||<即位>ガズナ朝君主「マサード1世」(~10400117死去)

1050迄 (1322件)

- 1031年-04:00|アルメニア/アゼルバイジャン| |||<死去>シャッタート朝国王「アル・ファトル1世・ヒン・ムハンマド」
- 1031年-04:00|アルメニア/アゼルバイジャン| |||<即位>シャッタート朝国王「アブ・ル・ファトムサ」(~1034年殺される)
- 1031年-04:00|ロシア| |||ヤロスラフは弟ムスチスラフと共同して出兵、国境付近のチェルヴェン地方を占拠
- 1031年-03:30|イラン| |||<死去>スィヤール朝第5代国王「ヌーチフル・ブン・カーブース」
- 1031年-03:30|イラン| |||<即位>スィヤール朝第6代国王「ヌーシールワン・ブン・ヌーチフル」(~1050年死去)
- 1031年-03:00|イェメン| |||<即位>ラッシー朝イマム「アブ・ハシム・アルハッサン」(~1040年死去)
- 1031年-01:00|フランス| |||<就任>オセル伯「Renauld1世」(~10400529死去)
- 1031年-01:00|フランス| |||<就任>サンボル伯「ロジェ」(~1067年)
- 1031年-01:00|ドイツ| |||<就任>テューリンゲン方伯「ルトヴィヒ髭伯」(~1056年)
- 1031年-01:00|ポーランド| |||<即位>ポーランド公「ヘスプリム」ホレスワフ1世の息子(~1032年殺害される)
- 1031年-01:00|ポーランド| |||<退位>ポーランド王「ミェシュコ2世ランベルト」異母兄ヘスプリムに攻められポーミアへ逃れる(~1032年復位)
- 1031年-01:00|ジブラルタル/スペイン| |||ジブラルタルはアルヘシラスのタイファの一部
- 1031年1月10日-01:00|ドイツ| |||<死去>オストマルク辺境伯「ティートマル2世」
- 1031年1月10日-01:00|ドイツ| |||<就任>オストマルク辺境伯「ホド-2世(オド-2世)」(~1032年死去)ティートマル2世の子
- 1031年2月5日-09:00|日本|奈良県奈良市|長元4年1月11日|東大寺検校深覚が西院を創立
- 1031年5月22日-09:00|日本| |長元4年4月28日|平忠常が甲斐守源頼信の軍門に降る
- 1031年5月23日-09:00|日本|京都府京都市|長元4年4月29日|藤原頼道の新造の東三条殿焼亡
- 1031年5月24日-09:00|朝鮮| |高麗・太平11年5月|<即位>高麗王「徳宗」(~1034年)
- 1031年6月18日 00:00|アイルランド| |||<就任>アイルランド連邦共和国政府(アルシング)法話者「スタイン・トルゲストリ」(~1033年)
- 1031年6月25日-08:00|中国| |契丹・景福1年6月3日|<死去>契丹可汗「聖宗耶律隆緒」年61
- 1031年6月25日-08:00|中国| |契丹・景福1年6月3日|<即位>契丹可汗「興宗耶律宗真」(~1055年8月)
- 1031年6月28日-09:00|日本| |長元4年6月6日|<死去>房総平氏の祖・平忠常病死
- 1031年7月7日-08:00|中国| |契丹・景福1年6月15日|契丹の興宗が景福と改元
- 1031年7月20日-01:00|フランス| |||<死去>フランス王(カペ朝)「ロベール2世(敬虔王)」59歳(生年972年)
- 1031年7月20日-01:00|フランス| |||<即位>フランス王(カペ朝)「アンリ1世」ロベール2世の次子(~10600804死去)
- 1031年7月28日-09:00|日本|京都府京都市|長元4年7月7日|御倉町の近江守・源行任第焼亡
- 1031年11月29日-03:00|イラク| |||<死去>バグダード・アッバース朝第25代カリフ「カーテイル」
- 1031年11月29日-03:00|イラク| |||<即位>バグダード・アッバース朝第26代カリフ「カーイム」(~10750402死去)
- 1031年12月-01:00|スペイン| |||<死去>後ウマイヤ朝第9代カリフ「ヒシャム3世」アラゴン王国・カスティリア王国に圧迫され、コルドバで死刑になり滅亡
- 1032年-05:00|ウズベキスタン| |||<死去>クワズミヤン朝シャー「Abu Sa' id Altun-Tash」
- 1032年-05:00|ウズベキスタン| |||<即位>クワズミヤン朝シャー「Harun ibn Altun-Tash」(~1035年死去)
- 1032年-01:00|フランス| |||<死去>ルテル伯「マサ2世」
- 1032年-01:00|ドイツ| |||<死去>オストマルク辺境伯「ホド-2世(オド-2世)」
- 1032年-01:00|ポーランド| |||<死去>ポーランド公「ヘスプリム」殺害される
- 1032年-01:00|イタリア| |||<就任>ヴェネツィア共和国第29代ドージェ(元首)「トメニコ・フラベニコ」(~1043年)
- 1032年-01:00|フランス| |||<就任>オーベルニュ伯「William5世」Robert1世の息子(~1064年死去)
- 1032年-01:00|ドイツ| |||<就任>オストマルク辺境伯「ティートリヒ2世」(~10341119)
- 1032年-01:00|フランス| |||<就任>モルテン伯「William Werlenc」(~1048年)
- 1032年-01:00|フランス| |||<就任>ルテル伯「マサ3世」(~1065年死去)
- 1032年-01:00|スペイン| |||<即位>トレド・タイファ「Isma'il al-Zahir」(~1043年)
- 1032年-01:00|フランス| |||<即位>ブルゴニュ公「ロベール1世老公」(~10760321死去)
- 1032年-01:00|ポーランド| |||<復位>ポーランド公「ミェシュコ2世ランベルト」(~10340510死去)
- 1032年1月13日-09:00|韓国/朝鮮| |高麗・太平11年11月28日|高麗、契丹に従わず、大平年号に戻す
- 1032年1月18日-09:00|日本|京都府京都市|長元4年12月3日|上東門院彰子の御所京極第(殿)焼亡
- 1032年2月14日-08:00|中国| |西夏・顕道1年|党項(タングート)の李元昊、自立/宋の年号「明道」をそのまま使わず、「顕道」と使わせる(~1033)
- 1032年5月-01:00|フランス| |||フランス王アンリ1世、フランス中部オルアンに「諸侯会議」を召集し、弟ロベールによる「ブルゴニュ公」継承を承認させる
- 1032年8月-01:00|フランス| |||フランス王アンリ1世の母コンスタンス・ダール、「ブワロ伯」ウードらと謀り、子のロベールに反乱を起こさせる/フランス王アンリ1世、「ルマンデュー公」ロベール1世(華麗公)が滞在するフランス北部フェカンに逃れる
- 1032年9月6日-02:00|ブルガリア| |||<即位>ブルガリア王コンラート2世[神聖ローマ皇帝、ドイツ・イタリア王](~10390604)
- 1032年9月6日-01:00|フランス/スイス| |||<死去>ブルグント王「ルドルフ3世」ブルグント王国は神聖ローマ帝国に併合され、ブルグント王位もローマ王位に統合
- 1032年9月6日-01:00|モロコ/フランス/ドイツ| |||ブルゴニュ(及び付随するモロ)はドイツ(神聖ローマ帝国)皇帝によって継承
- 1032年10月9日-01:00|バチカン| |||<死去>第144代ローマ教皇「ヨハネス19世」
- 1032年10月21日-01:00|バチカン| |||<就任>第145代ローマ教皇「ベネディクトゥス9世」(~1044.9追放)
- 1032年12月6日-08:00|中国| |宋・明道1年11月|北宋の仁宗が明道(-1033年)と改元
- 1032年12月16日-08:00|中国| |契丹・重熙1年11月11日|契丹の興宗が重熙(-1055年)と改元
- 1033年-03:00|イェメン| |||<死去>ラッシー朝イマム「アブ・タリフ・ヤーヤ」
- 1033年-01:00|フランス| |||<死去>上ロリングア公・バル伯「フレデリック3世」

1050迄 (1322件)

- 1033年-01:00|フランス| |||<就任>ハル伯「ソフィー」(~10930121死去)
- 1033年-01:00|フランス| |||<就任>ヌ伯「Gerhard4世」(~1045年)
- 1033年-01:00|フランス| |||<即位>上ロリンギア公「コ・ロン」兼下ロリンギア公(~1044年)
- 1033年-01:00|イタリア| |||<即位>ナポリ公「ジヨ5世」(~1042年)
- 1033年-01:00|ルウェー| |||<即位>ルウェー対立王「トリックウァ・オラフソン」(~同年没)
- 1033年-01:00|スペイン| |||<即位>ムトラ・タイア「Abbad2世al-Mu'tadid」(~1044年)
- 1033年 00:00|イギリス| |||<死去>グレイウイング王「リダ・チ・アブ・イ・ステイン」
- 1033年 00:00|イギリス| |||<即位>グレイウイング王「グリフィス・アブ・リダ・チ」(~1055年死去),「Gwrgant ab Ithel the Black」(~1070年)
- 1033年 00:00|イギリス| |||<即位>デハイバース王「ハウェル・アブ・エドゥイン」(~1043年),「Maredudd・アブ・エドゥイン」(~1035年死去)
- 1033年 00:00|イギリス| |||ホイスをグイットが統治(~1039年)
- 1033年1月11日-09:00|日本|京都府京都市|長元5年12月8日|九条御廐・法住寺焼亡
- 1033年2月2日-01:00|フランス/スイス| |||<即位>ブルグント王「コンラート2世」フランク・ローマ帝国皇帝・イタリア王(~10390604没)
- 1033年8月28日-09:00|韓国/朝鮮| ||高麗・重熙2年8月|高麗、契丹に備えて西北境域に長城を築く
- 1033年9月-01:00|イタリア| |||<死去>ベネヴェント大公「ラントルフ5世」
- 1033年9月-01:00|イタリア| |||<即位>ベネヴェント大公「パントルフ3世」(~1053年)
- 1033年10月-01:00|チェコ| |||<退位>ホヘミア公「オルトジフ」(~10341111死去)
- 1033年10月-01:00|チェコ| |||<復位>ホヘミア公「ヤロミール」(3回目~1034年4月)
- 1033年10月26日-08:00|中国/韓国/朝鮮| ||高麗・重熙2年;契丹・重熙2年10月|契丹は高麗の定州を侵略したが、高麗軍に敗れて退却した
- 1034年-05:00|キルギス/ウスベキスタン/中国| |||<死去>カラハン朝ハン「Ali Tigin Bughra Khan」
- 1034年-05:00|キルギス/ウスベキスタン/中国| |||<即位>カラハン朝ハン「Ebu Shuca Sulayman」(~1042年)
- 1034年-04:00|アルメニア/アゼルバイジャン| |||<死去>シャッタート朝国王「アブ・ル・ファトマ」殺される
- 1034年-04:00|アゼルバイジャン/ロシア| |||<死去>シルヴァンシャ朝国王「Manuchehr1世」
- 1034年-04:00|アルメニア/アゼルバイジャン| |||<即位>シャッタート朝国王「アリ2世・ラシュカリ」(~1049年)
- 1034年-04:00|アゼルバイジャン/ロシア| |||<即位>シルヴァンシャ朝国王「Ali2世」前王の兄弟(~1043年死去)
- 1034年-04:00|ロシア| |||<即位>ノゴロト公「ウラジミール・ヤロスラヴィチ」(~10521004)
- 1034年-01:00|イタリア| |||<復位>アルフィ公「マン2世」(~1038年),「マリア」(~1039年)共同統治
- 1034年-01:00|フランス| |||<復任>ガカソヌ伯「Raymond2世」(2期目~1068年),「Peter2世」(2期目~1059年)
- 1034年1月23日-09:00|朝鮮| ||高麗・太平14年|<死去>第9代高麗王「徳宗」
- 1034年1月23日-09:00|朝鮮| ||高麗・太平14年|<即位>高麗王「靖宗」(~1046年)
- 1034年1月23日-09:00|日本| ||長元7年|この年、平安時代の歴史物語「栄華物語」正篇成る
- 1034年1月23日-09:00|韓国/朝鮮| ||高麗・重熙3年|高麗の歴史書『七代実録』が完成
- 1034年1月23日-08:00|中国| ||西夏・開運1年|西夏の李元昊は兵を率いて環州、慶州に入寇/次に李元昊は蕃族の王と戦ったが散々に敗れ鋒先を転じて天山ウイグルに侵入を繰り返す
- 1034年1月23日-08:00|中国| ||宋・景祐1年|北宋代仁宗が景祐(-1038年)と改元
- 1034年1月23日-08:00|中国| ||西夏・開運1年1月|西夏の景宗が開運と改元
- 1034年2月22日-08:00|中国| ||西夏・広運1年2月|西夏の景宗が広運(-1035年)と改元
- 1034年3月21日-01:00|ドイツ| |||<死去>ロリンギア宮中伯「エツォ(エルフリート)」
- 1034年3月21日-01:00|ドイツ| |||<就任>ロリンギア宮中伯「オット1世」(⇒1045年シュヴァーベン大公「オット2世」~10470907死去)
- 1034年4月-01:00|チェコ| |||<即位>ホヘミア公「リツフ1世」(2回目~11.9)
- 1034年4月-01:00|チェコ| |||<退位>ホヘミア公「ヤロミール」(~10351104死去)
- 1034年4月11日-02:00|トルコ| |||<死去>東ローマ帝国皇帝(マケドニア朝)「ロマノス3世アルキユロス」
- 1034年4月11日-02:00|トルコ| |||<即位>東ローマ帝国皇帝「ミカエル4世パフラゴニオス」パフラゴニア地方出身の農民の子、あるいは両替商の息子(~10411210死去)皇后ゾエの愛人となりロマノス3世が不慮の死を遂げた後、ゾエはミカエルと結婚し、彼を皇帝として新たに即位させた
- 1034年4月21日-07:00|ベトナム| ||大越・通瑞1年4月|李朝の太宗李仏瑪が通瑞に改元(-1039年)
- 1034年5月-01:00|チェコ/スロバキア/ハンガリー| |||モラヴィアをホヘミアが統治(~10550110)
- 1034年5月10日-01:00|ポーランド| |||<死去>ポーランド公「ミェシュコ2世ランベルト」
- 1034年5月10日-01:00|ポーランド| |||<即位>ポーランド公「ボレスロ」(~1038年死去)
- 1034年6月21日 00:00|アイスランド| |||<就任>アイスランド連邦共和国政府(アルソング)法話者「リケル・フォルガソン」(~1053年)
- 1034年9月23日-09:00|日本|京都府|長元7年8月8日|<長元7年京都暴風雨、洪水>(~10日)京都が暴風雨に見舞われ、大内裏内の政府の官舎及び門や塀などをはじめ、内裏外の社寺、民家など多数が次々と倒壊/鴨川も決壊して洪水となり、水は淀から山崎の方まで拡がり、多くの人々が亡くなった
- 1034年10月1日-09:00|日本| ||長元7年8月16日|彗星東方に見ゆ
- 1034年10月19日-01:00|ドイツ| |||<就任>オストマルク辺境伯「エッケハルト2世」(~10460124死去)
- 1034年11月11日-01:00|チェコ| |||<再位>モラヴィア公「ブラジスラフ1世」(~1049年退位~10550110死去);<即位>ホヘミア公「ブラジスラフ1世」(~10550110死去)
- 1034年11月25日 00:00|イギリス| |||<死去>スコットランド王「マルカム2世破壊王」反対派によって暗殺
- 1034年11月25日 00:00|イギリス| |||<即位>スコットランド王「ダuncan1世病王」マルカム2世の孫(~10400814死去)

1050迄 (1322件)

- 1035年-05:30|インド| |||<即位>チャンドラ朝国王「Vijaya-Pala」(~1050年)
1035年-05:00|ウズベキスタン| |||<死去>クワズミアン朝シャ「Harun ibn Altun-Tash」
1035年-05:00|ウズベキスタン| |||<即位>クワズミアン朝シャ「Ismail Khandan ibn Altun-Tash」(~1041年)
1035年-04:30|アフガニスタン| |||<死去>ゴール朝マリク「Abu Ali ibn Muhammad」
1035年-04:30|アフガニスタン| |||<即位>ゴール朝マリク「Abbas ibn Shith」(~1060年死去)
1035年-04:00|ロシア| |||<死去>トムタラニ公「ムスチスラフ・ウラジミロウイチ」キエフ公国に統合
1035年-02:00|ウクライナ/ベラルーシ/ロシア| |||<死去>チェルニヒウ公「ムスチスラフ・ウラジミロウイチ」
1035年-01:00|フランス| |||<就任>ヴェイクサン伯「Walter3世」(~1063年)
1035年-01:00|フランス| |||<就任>ヴェイルマントワ伯「Odo1世」(~1045年)
1035年-01:00|イタリア| |||<就任>ヴェロナ辺境伯「Conrad2世」(~10390720死去)
1035年-01:00|クロアチア| |||<就任>クロアチア・ハンスタテン・フラスカ「(~1058年)」
1035年-01:00|フランス| |||<就任>コンフラン伯「William Raymond」(~1068年)
1035年-01:00|スペイン| |||<就任>サルタニャ伯「Raymond」(~1068年)
1035年-01:00|オーストリア| |||<就任>シュターアマル辺境伯「Arnold of Wels-Lambach」(~1055年)
1035年-01:00|スペイン| |||<就任>ベルカ伯「Bernard1世」(~1050年死去)
1035年-01:00|スペイン| |||<就任>リハゴルザ伯「Gonzalo」(~1045年)
1035年-01:00|スペイン| |||<即位>アルシエシラス・タイファ「Muhammad ibn al-Qasim」(~1048年)
1035年-01:00|スペイン| |||<即位>マカ・タイファ「Idris I al-Muta'ayyad」(~1039年)
1035年 00:00|イギリス| |||<死去>デハイバース王「Maredudd・アブ・イトウイン」
1035年 00:00|フェロ諸島/デンマーク| |||<死去>フェロ諸島元首「Thrandr Thorbjornsson ae Gotu」
1035年 00:00|フェロ諸島/ルウェー| |||<就任>フェロ諸島元首「Leifr Ossurarson」
1035年 00:00|フェロ諸島/ルウェー| |||フェロ諸島はルウェー宗主国の下に帰順
1035年4月13日-01:00|フランス| |||<死去>メヌ伯「ハーバート1世」
1035年5月12日-09:00|日本| 京都府京都市| 長元8年4月3日| 樋口烏丸の小宅の多くが焼亡
1035年5月23日-09:00|日本| || 長元8年4月14日| <死去>昭登親王、皇族(生年998年)
1035年5月26日-01:00|スペイン| |||<死去>バルセロナ伯「ハランゲ・ラモン1世(背曲がり伯)」
1035年5月26日-01:00|スペイン| |||<就任>バルセロナ伯「ラモン・ハランゲ・1世(老伯)」ハランゲ・ラモン1世の子(~10760526死去)
1035年5月30日-01:00|フランス/ベルギー| |||<死去>フランドル伯・サンホル伯「ホートゥアン4世」
1035年5月30日-01:00|フランス/ベルギー| |||<就任>フランドル伯「ホートゥアン5世」Baldwin4世の息子(~10670901死去)
1035年6月4日-09:00|日本| 京都府京都市| 長元8年4月26日| 藤原実質の小野宮第焼亡
1035年7月3日-02:00|トルコ/フランス| |||<死去>ルマンティエ公「ロベール1世(ロベール2世)華麗公・悪魔公」エルサレム巡礼の帰途にカ
イ(現トルコ)で
1035年7月3日-01:00|フランス| |||<即位>ルマンティエ公「ギヨーム2世庶子公・征服公」(~10870909死去)
1035年7月29日-09:00|日本| || 長元8年6月22日| <死去>選子内親王(生年964年/皇族、賀茂斎院)
1035年10月18日-01:00|スペイン| |||<死去>ナバラ王・ハンブロン王「サンチョ・ガルス3世」
1035年10月18日-01:00|スペイン| |||<即位>アラゴン国王「ラミロ1世」ナバラ国王サンチョ3世とサンチャ・デ・アバンの息子(~106305
08死去)アラゴン王国独立
1035年10月18日-01:00|スペイン| |||<即位>ハンブロン王・ナバラ王「ガリア・サンチェス3世」サンチョ・ガルス3世とムニアドナの男子(
~10540915死去)
1035年11月12日-01:00|デンマーク/ルウェー/イギリス| |||<死去>デンマーク・ルウェー王「クヌズ2世大王」(イングランド王「クヌート1世
大王」)/35歳(誕生995年)
1035年11月12日-01:00|ルウェー| |||<就任>ルウェー摂政「エイナル・イントリッソン・サンバルスケルグイル」(~1039年5月)
1035年11月12日-01:00|デンマーク| |||<即位>デンマーク王「ハーデクヌズ(クヌズ3世)」クヌズ2世とエマ・オブ・ノルマンディエの息子
(~10420608死去)
1035年11月12日-01:00|ルウェー| |||<即位>ルウェー王「マグヌス1世オラフソン善王」(~10471025死去)
1035年11月12日 00:00|イギリス| |||<死去>イギリス王「クヌート大王」
1035年11月12日 00:00|イギリス| |||<即位>イギリス王「Harthacnut」(1期目~1037年)、摂政「ハロルト1世「Harefoot」」(=>
1037年王~10400317死去)
1036年-04:00|ロシア| |||ヤロスラフはトムタラニ公領を接收しルシの国の単独支配者となった
1036年-04:00|ロシア| |||ルシをステップの民・チェルク人が攻め寄せキエフを取り囲んだ/ヤロスラフはキエフ郊外でチェルクと激
突粉砕
1036年-01:00|クロアチア/トルコ| |||<就任>ビザンチンのラゲザ総督「ケレゴリオ、ラゲザ・エザラ」(~1042年)
1036年-01:00|フランス| |||<就任>メヌ伯「ヒュ4世」(~10510325死去)
1036年-01:00|イタリア| |||<即位>スペレート公「フク3世」(~1043年)
1036年1月31日-08:00|中国| || 西夏・大慶1年| 西夏の景宗が宋の支配下であった河西地方西部の肅州・瓜州・沙
州に兵を進めて制圧
1036年1月31日-08:00|中国| || 西夏・大慶1年| 西夏の景宗が大慶(-1038年)と改元
1036年1月31日-08:00|中国| || 西夏・大慶1年| 西夏の景宗が蘭州近郊へ兵を送り、青唐王国に圧力を加えた
1036年1月31日-08:00|中国| || 西夏・大慶1年| 西夏の李元昊は靈州を興州と改め、西平府は興慶府と名称を改め
、首府とした
1036年1月31日-07:00|ベトナム| || 大越・通瑞3年| ヌ族のヌチ・ウが反乱、皇帝を名乗る

1050迄 (1322件)

1036年2月2日-01:00|オーストリア/スロベニア| |||<即位>ケルテン公「コンラート2世若公」(~10390720死去)
1036年5月15日-09:00|日本| ||長元9年4月17日|<譲位・崩御>68代「後一条天皇」29歳(誕生:寛弘5(1008)0911)
1036年5月15日-09:00|日本| ||長元9年4月17日|<踐祚>69代「後朱雀天皇」(7月10日即位)
1036年5月17日-08:00|中国| ||契丹・重熙5年4月19日|重熙新定条例を公布
1036年6月13日-01:00|チュニジア/エジプト| |||<死去>ファティマ朝第7代カリフ「アズ=ザ=ヒル」
1036年6月13日-01:00|チュニジア/エジプト| |||<即位>ファティマ朝第8代カリフ「アル=ムスタンスィル=ビ=ツラー」(~10940110死去)
1036年8月-01:00|モンテネグロ/トルコ| |||モンテネグロをビザンチンが占領(~1037年12月)
1036年8月29日-09:00|日本| ||長元9年8月6日|<死去>藤原威子(生年1000年、後一条天皇の中宮)
1037年-08:00|インドネシア| |||エルンガは東部ジャワをほぼ統一
1037年-02:00|ウクライナ| |||キエフ公国で聖ソフィア寺院が建立
1037年-01:00|フランス| |||<就任>シャトル伯「Theobald3世」(~1089年死去)
1037年-01:00|フランス| |||<就任>シャンパニュ伯「エティエンヌ2世」ウート1世の息子(~1047年死去)ブワロ伯
1037年-01:00|フランス| |||<就任>ブワロアンソワール伯「エンマ」ルベ3世の娘(~1062年)トゥールーズ伯ギヨーム3世と結婚
1037年-01:00|イタリヤ| |||<即位>カリッヅ君主「Abdallah」(~1040年)
1037年2月6日-09:00|日本|奈良県奈良市|長元10年1月19日|興福寺僧徒が東大寺東南院を破壊
1037年5月9日-09:00|日本| ||長暦1年4月21日|長元から長暦に改元
1037年7月17日-09:00|日本|京都府京都市左京区|長暦1年6月2日|上東門院が後一条天皇のために菩提樹院を建立供養
1037年9月-01:00|フランス| |||<死去>トゥールーズ伯「ギヨーム3世」
1037年9月-01:00|フランス| |||<就任>トゥールーズ伯「ホンス2世」(~1060年死去)
1037年9月4日-01:00|スペイン| |||<死去>レオン国王「ベルムート3世」戦死、カスティーリヤ王国に併合されレオン・カスティーリヤ王国になる
1037年9月4日-01:00|スペイン| |||<即位>レオン・カスティーリヤ王「フェルナンド1世大王」(~10651227死去)
1037年10月14日-09:00|日本| ||長暦1年9月3日|衆星乱れ墜ちる
1037年11月15日-01:00|フランス| |||<死去>トワロ伯「ウート3世」兼シャンパニュ伯・モー伯「ウート1世」兼シャトダン伯・ブワロ伯「ウート2世」
1037年11月15日-01:00|フランス| |||<就任>トワロ・モー伯「Stephen2世」(~1047年死去)
1037年11月15日-01:00|フランス| |||<就任>ブワロ伯「Theobald3世」(~1089年死去)トゥール伯、シャトル伯
1037年12月-01:00|モンテネグロ/セルビア| |||<即位>トウリヤ公「ヴオイスラフ・トウゴミロウイッチ」(2回目~1043年)
1037年12月5日-01:00|ベルギー-| |||<死去>リエージュ公「レズナル」
1037年12月5日-01:00|ベルギー-| |||<就任>リエージュ公「ニタル」(~10420811死去)
1037年12月15日-01:00|フランス| |||<死去>ダマルタン伯「Manasses Calvus」
1037年12月15日-01:00|フランス| |||<就任>ダマルタン伯「Eudes」(~1060年死去)
1038年-05:30|インド-| |||<即位>東ガంగా朝国王「ヴァジュラハスタ・アナンタヴァルマン」
1038年-03:30|イラン/イラク/トルクメニスタン| |||<即位>大セルジュク朝スルターン「トウクル・ベグ」(~10630904死去)
1038年-03:00|イェメン| |||<即位>ラッシー朝イマム「アブ・ルフアス・アナンジュール・アッタ・イラミ・ヒン・アルフセイン」(~1053年死去)
1038年-02:00|シリア・アラブ-| |||ダマスカス総督デイス・ヒリーがアレクソを占領
1038年-01:00|アンドラ-| |||<死去>ウルツェイ伯「Ermengol2世」
1038年-01:00|ポーランド-| |||<死去>ポーランド公「ホレスロ」
1038年-01:00|ベルギー-| |||<死去>ルーベン・ブラッセル伯「ヘンリ1世」
1038年-01:00|アンドラ-| |||<就任>ウルツェイ伯「Ermengol3世」(~1065. 2. Barbastroで殺される)
1038年-01:00|イタリヤ| |||<就任>カプア公「ガマル4世」サレルノ候(~1047年)
1038年-01:00|フランス| |||<就任>ナント伯「Matthew1世」Burdicの息子(~1051年)
1038年-01:00|フランス| |||<就任>ビゴール伯「Bernard2世」(~1077年)
1038年-01:00|ベルギー-| |||<就任>ルーベン・ブラッセル伯「Otto」(~1040年)
1038年-01:00|スペイン| |||<即位>アルメリア・タイファ「Abu Bakr al-Ramimi」, 「Abd al-Aziz al-Mansur」
1038年-01:00|スペイン| |||<即位>ゲラタ・タイファ「Badis ben Habus」(~1073年)
1038年-01:00|ポーランド-| |||<即位>ポーランド公「カジミェシュ1世トウノイェル」ミェシュ2世の息子(~10581128死去42歳)
1038年-01:00|イタリヤ| |||<復位>アルフィ公「ジョン2世」(~1039年)
1038年1月9日-08:00|中国| ||宋・景祐4年12月2日|山西、忻州地震/M7. 3、死者3万2, 300人
1038年3月-01:00|フランス| |||<死去>アキテーヌ公「ギヨーム6世」兼ボワティエ伯「ギヨーム4世」
1038年3月-01:00|フランス| |||<即位>アキテーヌ公兼ボワティエ伯「ウート」(~10390310死去)
1038年4月17日-09:00|日本|神奈川県鎌倉市|長暦2年3月17日|長谷寺の塔や僧坊が焼失
1038年4月23日-01:00|トウツ/オランダ-| |||<死去>フリースラント辺境伯「リウトルフ」(生年1003年)
1038年5月22日-02:00|シリア・アラブ-| |||<死去>ミルタース朝アミール「Shibl al-Dawla」
1038年7月-01:00|トウツ/スイス| |||<死去>シュヴァーベン大公「ヘルマン4世」
1038年7月-01:00|トウツ/スイス| |||<即位>シュヴァーベン大公「ハインリヒ1世」(~1045年退位)
1038年7月6日-09:00|日本| ||長暦2年6月2日|<死去>大中臣輔親(生年954年/歌人、中古三十六歌仙の一人)
1038年8月15日-01:00|ハンガリー-| |||<死去>ハンガリー王「シュテファン1世聖王」
1038年8月15日-01:00|ハンガリー-| |||<即位>ハンガリー王「ペテル1世」シュテファン1世の甥(1回目~1041年)
1038年9月2日-09:00|韓国/朝鮮| ||高麗・重熙7年8月1日|高麗、契丹重熙年号を施行
1038年11月1日-01:00|トウツ-| |||<死去>マイセン辺境伯「ヘルマン1世」

1050迄 (1322件)

- 1038年11月1日-01:00|ドイツ| |||<就任>マイセン辺境伯「エックハルト2世」エックハルト1世の次男、ヘルマン1世の弟 (~10460124死去)
- 1038年11月10日-08:00|中国| ||西夏・天授1年10月11日|<即位>西夏第1代皇帝「景宗(武烈皇帝) 李元昊」(~天授礼法延祚11年1月2日(1048年1月19日))死去国名を『大夏』と号した/天授元年と年号を定める
- 1038年11月29日-08:00|中国| ||宋・寶元1年11月|北宋の仁宗が宝元(-1040年)と改元
- 1039年-03:00|サウジアラビア| |||<即位>メッカ・シャリフ「シュクル・ブン・アヒル・フトゥー」(~1061年)
- 1039年-01:00|フランス| |||<死去>エノー伯「レニエ5世」
- 1039年-01:00|フランス| |||<就任>エノー伯「エルマン」(~10490703死去)
- 1039年-01:00|イタリア| |||<即位>アマルフィ公「ガ・イマル4世」サレルノ侯・カプア侯(~10520602死去)
- 1039年-01:00|スペイン| |||<即位>トルサ・タイファ「Muqatil Sayf al-Milla」(~1053年)
- 1039年-01:00|スペイン| |||<即位>マラカ・タイファ「Yahya II al-Qa'im」(~1040年)
- 1039年-01:00|スペイン| |||<即位>ロンダ・タイファ「Abu Nour」(~1053年)
- 1039年 00:00|イギリス| |||<死去>グウィネト王「イアコ・アブ・イドワル」
- 1039年 00:00|イギリス| |||<即位>ホイス王「グワリフス・アブ・ルエリン」(~10630805死去)
- 1039年 00:00|イギリス| |||グウィネトをホイスが統治(~1075年)
- 1039年1月27日-09:00|韓国/朝鮮| ||高麗・重熙8年|高麗・靖宗が奴婢従母法を定める
- 1039年1月27日-07:00|ベトナム| ||大越・通瑞6年|農存福、昭聖皇帝と称す/後、安南李朝の太宗に捕殺
- 1039年3月10日-01:00|フランス| |||<死去>アキテーヌ公兼ホワティエ伯「ウート」
- 1039年3月10日-01:00|フランス| |||<即位>アキテーヌ公兼ホワティエ伯「ギヨーム7世」(~1058年秋死去)
- 1039年4月12日-09:00|日本|京都府京都市|長暦3年3月16日|延暦寺僧徒が高陽院に放火
- 1039年4月16日-01:00|ドイツ| |||<死去>ヴァイマル伯「ヴァイルヘルム3世」
- 1039年4月16日-01:00|ドイツ| |||<就任>ヴァイマル伯「ヴァイルヘルム4世」(~1062年死去)
- 1039年5月27日-01:00|フランス| |||<死去>ホント伯「デイルク3世」
- 1039年5月27日-01:00|フランス| |||<就任>ホント伯「デイルク4世」(~10490113死去)
- 1039年6月4日-01:00|ドイツ/オーストリア/イタリア/フランス/スイス| |||<死去>フランク・ローマ帝国皇帝・イタリア王・ブルグント王「コラート2世」
- 1039年6月4日-01:00|ドイツ/オーストリア/イタリア/フランス/スイス| |||<即位>フランク・ローマ帝国皇帝・イタリア王・ブルグント王「ハインリヒ3世」(~10561005没)
- 1039年6月4日-01:00|イタリア/ドイツ| |||<即位>ローマ王・ブルグント王「ハインリヒ3世」兼イタリア王「エンリコ3世」コラート2世の子/ハインリヒ大公ハインリヒ6世黒王(~10561005死去)
- 1039年6月24日-07:00|ベトナム| ||大越・乾符有道1年6月|李朝の太宗李仏瑪が乾符有道に改元(-1042年)
- 1039年7月20日-01:00|イタリア| |||<死去>グエローナ辺境伯「Conrad2世」
- 1039年7月20日-01:00|オーストリア/スロベニア| |||<死去>ケルンテン公「コラート2世」
- 1039年7月20日-01:00|オーストリア/スロベニア| |||<即位>ケルンテン公(ザーリア家)「ハインリヒ4世」ハインリヒ公(~1047年)
- 1039年7月20日-09:00|日本|京都府京都市|長暦3年6月27日|内裏が焼失
- 1039年9月19日-09:00|日本| ||長暦3年8月28日|<死去>藤原げん子(生年1016年/皇族、後朱雀天皇の中宮)
- 1040年-05:30|インド| |||この頃、ガミールでシェメントラ作サンスクリット物語集「プーリハット・カター・マンジャリ」成る
- 1040年-03:00|イェメン| |||<死去>ラッシー朝イマム「アブ・ハシム・アルハッサン」
- 1040年-02:00|シリア・アラブ/トルコ| |||<即位>ヌタム朝「Muta'in ibn Waththab」(~1056年)
- 1040年-01:00|スペイン| |||<就任>アンプurias伯「Ponce1世」(~1078年)
- 1040年-01:00|スロベニア| |||<就任>カルニオラ辺境伯「Poppo1世」(~1044年死去)
- 1040年-01:00|ベルギー| |||<就任>ルーベン・ブラッセル伯「ランベルト2世」ランベルト1世の息子(~10540619死去)
- 1040年-01:00|イタリア| |||<即位>カルビッツ君主「Hasan as-Samsam」(~1053年)
- 1040年-01:00|スペイン| |||<即位>シルバ・タイファ「Muhammad1世」(~1048年)
- 1040年-01:00|スペイン| |||<即位>マラカ・タイファ「Hasan al-Mustansir」(~1042年)
- 1040年 00:00|アイルランド| |||<即位>アイルランド上王「ドゥンチャド・マック・ブリアン」(~1064年)
- 1040年 00:00|モロッコ| |||<即位>ムラビット朝アミール「Abdallah ibn Yasin」(~10590707死去)
- 1040年1月17日-04:30|アフガニスタン| |||<死去>ガズナ朝君主「マサード1世」
- 1040年1月17日-04:30|アフガニスタン| |||<復位>ガズナ朝君主「ムハマト」(~1041年死去)
- 1040年2月15日-08:00|中国| ||西夏・天授3年;宋・康定1年1月|三川口の戦い/宋軍に対して、西夏は三川口に伏兵を置いて迎え撃った/宋軍が崩壊、主な宋將は討死するか捕虜となり、延州救援は失敗
- 1040年3月16日-08:00|中国| ||宋・康定1年2月|北宋の仁宗が康定(-1041年)と改元
- 1040年3月17日 00:00|イギリス| |||<死去>イギリス王「ハロルド1世“Harefoot”」
- 1040年3月17日 00:00|イギリス| |||<即位>イギリス王「Harthacnut」(2期目~10420608死去)
- 1040年4月11日-09:00|韓国/朝鮮| ||高麗・重熙9年2月27日|高麗・権衡を定め計量を統一
- 1040年5月-05:00|トルクメニスタン/ウズベキスタン/アフガニスタン/イラン/イラク| |||ダングァンカンとの戦い。セルジューク朝がガズナ朝を破り東部イランで覇権を確立
- 1040年5月-02:00|ブルガリア| |||<即位>ブルガリア帝国(反乱中)皇帝「ピーター・テルジヤン」(1回目~1041年9月)
- 1040年5月29日-01:00|フランス| |||<死去>オセル伯「Renauld1世」
- 1040年5月29日-01:00|フランス| |||<就任>オセル伯・ヌヴェール伯「William1世」(~1083年~11000620死去)
- 1040年6月21日-01:00|フランス| |||<死去>アンジュー伯「ルーク3世黒顔伯」68歳
- 1040年6月21日-01:00|フランス| |||<就任>アンジュー伯「ジヨフワ2世鎚伯」ルーク3世黒顔伯とイルティガルト・ド・サントガウの息子(~10601114死去)
- 1040年7月6日-09:00|日本|京都府京都市|長暦4年5月24日|六角富小路焼亡

1050迄 (1322件)

- 1040年7月14日-09:00|日本| ||長暦4年6月3日|長久の莊園整理令:諸国に莊園停止を命じる
- 1040年7月18日-09:00|日本|京都府京都市|長暦4年6月7日|白河殿大炊屋・倉焼亡
- 1040年8月14日 00:00|イギリス| ||<死去>スコットランド王「タンカン1世病王」従兄弟のマクスに暗殺される
- 1040年8月14日 00:00|イギリス| ||<即位>スコットランド王「マクス赤王」マルカム2世の孫(~10570815死去)
- 1040年9月5日-09:00|日本| ||長暦4年7月26日|京都・伊勢に台風、八省院など倒壊
- 1040年10月1日-01:00|フランス| ||<死去>ブルグニュ公「アラン3世」兼レヌ公・レヌ伯「アラン1世」
- 1040年10月1日-01:00|フランス| ||<即位>ブルグニュ公兼レヌ公・レヌ伯「コナン2世」アラン3世とベルト・ド・ブワの1人息子(~10661211死去)コナン1世と共同統治
- 1040年10月9日-08:00|中国| ||西夏・天授3年;宋・康定1年9月|西夏軍が鎮戎軍周辺を攻めて宋軍を敗り、いくつかの城塞を陥れる/逆に宋軍に別の城塞を攻め取られる
- 1040年10月17日-09:00|日本|京都府京都市|長暦4年9月9日|皇居の京極土御門殿が焼亡し、神鏡が罹災
- 1040年12月16日-09:00|日本| ||長久1年11月10日|長暦から長久に改元
- 1041年-05:00|ウズベキスタン| ||<即位>クワズミヤ朝シャー「Shah-Malik ibn Ali」(~1042年)
- 1041年-04:30|アフガニスタン| ||<死去>ガズナ朝君主「ムハンマド」
- 1041年-04:30|アフガニスタン| ||<即位>ガズナ朝君主「マウトウド」(~1050年死去)
- 1041年-03:30|イラン| ||<即位>ケルマン・セルジューク朝スルターン「カーヴルト・ベグ」(~1073年)
- 1041年-01:00|スเปน| ||<即位>アルメリア・タイファ「Ma'n ben Muhammad ben Sumadih」
- 1041年-01:00|スเปน| ||<即位>サンタ・マリア・デル・アルカール・タイファ「Muhammad al-Mu'tasim」(~1051年)
- 1041年-01:00|スเปน| ||<即位>ニブラ・タイファ「Muhammad al-Yahsubi Izz ad-Dawla」(~1051年)
- 1041年-01:00|ハンガリー| ||<即位>ハンガリー王「サミュエル」シュテファン1世の義兄(~10440705没)
- 1041年-01:00|スเปน| ||<即位>マジョルカ・タイファ「Ali Iqbal ud-Dawlah」(~1075年)
- 1041年-01:00|スเปน| ||<即位>マロン・タイファ「Muhammad」(~1057年)
- 1041年-01:00|ハンガリー| ||<廃位>ハンガリー国王「ヘテル1世」追放
- 1041年-01:00|カブチア/トルコ| ||イテラ/ザラをビザンチン支配(~1097年)
- 1041年-01:00|チュニジア/イラク| ||チュニジアのズィール朝がアッハース朝の宗主権を認める
- 1041年-01:00|チェコ/ドイツ| ||ハインリヒ3世がボヘミア王「ジエフスラフ」を屈服させボヘミアをドイツ王国の知行とする
- 1041年 00:00|イギリス| ||<就任>ノーサンランド伯「Siward」(~1055年死去)
- 1041年1月6日-09:00|日本|京都府京都市|長久1年12月1日|鷹司殿焼失
- 1041年1月12日-09:00|日本|京都府京都市|長久1年12月7日|北御門室町間で失火、菅原院など焼亡
- 1041年2月4日-08:00|中国| ||大理・正治15年|<譲位>前大理第9代皇帝「聖徳帝(段素真)」
- 1041年2月4日-08:00|中国| ||大理・正治15年|<即位>前大理第10代皇帝「天明帝(段素興)」(~1044年廃位)
- 1041年2月4日-08:00|中国| ||宋・康定2年|このころ中国で可動活字(活版印刷)が発明される
- 1041年2月4日-07:00|ベトナム| ||大越・乾符有道3年|儂智高、自立/後、安南軍に捕まる
- 1041年2月4日-09:00|日本| ||長久2年1月1日|<死去>藤原公任(生年966年/公卿、歌人)
- 1041年3月5日-08:00|中国| ||西夏・天授4年;宋・康定2年2月|李元昊が軍を率いて渭州方面へ侵攻し、迎撃に出た宋軍を好水川の戦いで敗った/西夏軍も勝機に乗ることができずに撤退
- 1041年3月17日-01:00|フランス/トルコ| ||2月13日|ノルマン人がビザンチン帝国領のカパドチアに率いる軍とヴェノサ近くで対戦し、大勝
- 1041年3月24日-09:00|日本| ||長久2年2月20日|<死去>致平親王、皇族(生年951年)
- 1041年7月31日-08:00|中国| ||西夏・天授4年;宋・康定2年秋|西夏軍は、陝西地方北部にある宋の府州、麟州を攻めたが陥れることができず、ついで豊州を攻めて陥れた
- 1041年8月19日-09:00|日本|京都府京都市|長久2年7月20日|地震あり、洛東岡崎法勝寺八角九重塔倒壊
- 1041年9月-03:30|イラン| ||<死去>カイト朝アミール「Muhammad」
- 1041年9月-03:30|イラン| ||<即位>カイズ・アミール「Faramurz ibn Muhammad」(~1070年死去)、「Garshasp1世 ibn Muhammad」(~1047年)
- 1041年9月-03:30|イラン| ||<即位>カイト朝(Hamadan)アミール「Garshasp1世」(~1047年)
- 1041年9月-03:30|イラン| ||<即位>カイト朝(Isfahan)アミール「Faramurz」(~1070年死去)
- 1041年9月-02:00|ブルガリア| ||<死去>ブルガリア帝国(反乱中)皇帝「ピーター・テルジヤン」
- 1041年9月-02:00|ブルガリア| ||<即位>ブルガリア帝国(反乱中)皇帝「アルシヌ」(~10月)
- 1041年10月-02:00|ブルガリア| ||<即位>ブルガリア帝国(反乱中)皇帝「ピーター・テルジヤン」(2度目~11月)
- 1041年10月13日-09:00|日本|奈良県奈良市|長久2年9月13日|大安寺焼失
- 1041年11月10日-09:00|日本|京都府京都市|長久2年10月14日|祇園社焼亡
- 1041年11月27日-08:00|中国| ||宋・慶暦1年11月|北宋の仁宗が慶暦(-1048年)と改元
- 1041年12月10日-02:00|トルコ| ||<死去>東ローマ帝国皇帝「ミカエル4世パフラゴニアス」
- 1041年12月10日-02:00|トルコ| ||<即位>東ローマ帝国皇帝(マケドニア朝)「ミカエル5世カラファテス(繫ぎ・隙間の詰物)」ミカエル4世の甥(~1042.4追放~10420824死去)ミカエル4世が病死した後、宦官ヨハネス・カルフアトローフス(ミカエル4世の弟)によって皇帝として擁立
- 1042年-08:00|インドネシア| ||<即位>ケティリ・マハラジャ「Samarawi jaya」(~1104年)
- 1042年-08:00|インドネシア| ||<即位>ジャングラ・マハラジャ「Mapanji Garasakan」(~1052年)
- 1042年-08:00|インドネシア| ||<即位>スタガール王国マハラジャ「Dharmaraja」(~1064年)
- 1042年-05:30|インド| ||<即位>後期チャルキヤ朝国王「ソメシュヴァラ1世」(~1068年)
- 1042年-05:00|キルギス/ウズベキスタン/中国| ||<即位>西カラハン朝ハン「Muhammad Arslan Qara Khan」(~1052年)

1050迄 (1322件)

- 1042年-05:00|キルギス/ウズベキスタン/中国| |||<即位>東カラハン朝ハン「Ebu Shuca Sulayman」(~1056年)
- 1042年-05:00|ウズベキスタン/中国| |||パミール高原を境にカラハン朝が東西に分裂
- 1042年-04:00|アルメニア| |||<即位>バグラトゥ朝アルメニア王「ガギク2世」(~1045年、ビザンチン帝国に組み込まれる)
- 1042年-01:00|オーストリア| |||<就任>シュターアマル辺境伯「Godfrey of Pitten」(~1050年暗殺される)
- 1042年-01:00|クワアチ/トルコ| |||<就任>ビザンチンのラゴザ総督「カカロン、ストラゴ」(~1044年)
- 1042年-01:00|スペイン| |||<即位>アルプエンテ・タイファ「Ahmad b Muhammad 'Izz (o Adud) al-Dawla」(~1043年)
- 1042年-01:00|スペイン| |||<即位>カルモタ・タイファ「Ishaq」(~1052年)
- 1042年-01:00|イタリヤ| |||<即位>パトリ公「セルギウス5世」(~1082年)
- 1042年-01:00|ドイツ/オーストリア| |||<即位>ハイレム大公「ハインリヒ7世」下ロレーヌ公フリートリヒの息子/ルクセンブルク伯ハインリヒ2世(~10471016死去)
- 1042年-01:00|スペイン| |||<即位>マカ・タイファ「Naya the Usurper」⇒「Idris2世al-Ali」(~1047年)
- 1042年1月-02:00|シリア・アラブ| |||ミルダース朝スマイルがアレクソの支配権を得る
- 1042年1月-01:00|イタリヤ| |||<死去>モンフェラート侯「グリエルモ3世」
- 1042年1月-01:00|イタリヤ| |||<就任>モンフェラート侯「オットー2世」グリエルモ3世の子(~10841120死去)
- 1042年1月25日-08:00|中国| ||契丹・重熙11年;宋・慶暦2年|契丹と宋の間に和議が成立
- 1042年1月25日-08:00|中国| ||大理・聖明1年|大理国の段素興が聖明と改元(-1044)
- 1042年2月-02:00|シリア・アラブ| |||<即位>ミルダース朝アミール「Mu'izz al-Dawla」(~1057年)
- 1042年2月17日-09:00|日本|京都府京都市|長久3年1月24日|図書寮焼亡
- 1042年4月2日-09:00|日本|滋賀県大津市|長久3年3月10日|延暦寺僧徒が圓城寺円満院を焼く
- 1042年4月19日-02:00|トルコ| |||<即位>東ローマ帝国皇帝「ゾエコンスタンティノス8世」の次女(~10500611死去),「テオドラ」コンスタンティノス8世の三女(~10420611退位)
- 1042年4月19日-02:00|トルコ| |||<廃位>東ローマ帝国皇帝(マクドニア朝)「ミカエル5世カラファテス(繫ぎ・隙間の詰物)」追放
- 1042年6月8日-01:00|デンマーク/イギリス| |||<死去>デンマーク王・イングランド王「ハーデクヌズ(クヌズ3世)」
- 1042年6月8日-01:00|デンマーク| |||<就任>デンマーク摂政「スヴェント・エストリトセン」(~10471025)
- 1042年6月8日-01:00|デンマーク| |||<即位>デンマーク王「マグヌス1世」オラウ2世(ルウェー王)とアルヒルスの子の私生児(~10471025死去23歳)
- 1042年6月8日 00:00|イギリス| |||<死去>イギリス王「Harthacnut」
- 1042年6月8日 00:00|イギリス| |||<即位>イギリス王「エドワード 懺悔王」(~10660104死去)
- 1042年6月11日-02:00|トルコ| |||<即位>東ローマ帝国皇帝(マクドニア朝)「コンスタンティノス9世モマコス」ロマノス3世アルギロスの縁戚(~10550111病死)ゾエが元老院議員であったコンスタンティノス・モマコスと結婚し、彼を皇帝として即位させた
- 1042年6月11日-02:00|トルコ| |||<退位>東ローマ帝国皇帝「テオドラ」
- 1042年8月11日-01:00|ベルギー| |||<死去>リエージュ公「カール」
- 1042年8月11日-01:00|ベルギー| |||<就任>リエージュ公「ワツ」(~1048年死去)
- 1042年8月21日-02:00|シリア・アラブ| |||シリア・パルミラで地震(M7.2)、死者5万人
- 1042年9月-01:00|イタリヤ| |||<就任>プツィヤ伯「グリエルモ1世」(~1046年死去)
- 1042年9月17日-08:00|中国| ||西夏・天授5年;宋・慶暦2年9月|西夏軍が渭州方面へ侵攻し、迎え撃った宋軍を定川の戦いで敗った/さらに渭州まで軍を進めたが、宋軍の抵抗もあり略奪のみで軍を退いた
- 1042年11月4日-03:30|イラン| |||イラン・タブリスで地震(M7.3)、死者4万人
- 1042年11月16日-07:00|ベトナム| ||大越・明道1年10月|李朝の太宗李仏瑪が明道に改元(-1044年)
- 1043年-06:30|ミャンマー| |||<即位>アラカン国王「ミンカラ」(~1062年)
- 1043年-05:30|インド| |||<即位>ハラ朝国王「ウグラハバ3世」(~1070年)
- 1043年-04:00|アゼルバイジャン/ロシア| |||<死去>シルヴァンシャ朝国王「Ali2世」
- 1043年-04:00|アゼルバイジャン/ロシア| |||<即位>シルヴァンシャ朝国王「Kubad」前王の兄弟(~10490728死去)
- 1043年-04:00|ロシア/トルコ| |||ツァリグラーブ(コンスタンティノープル)への遠征/ヤロスラフの長男でウゴロド公のウラジミールを指揮官とする軍勢は、ドナウ付近で大嵐に遭い、さらにビザンツ海軍の攻撃により艦隊を破壊されてしまった
- 1043年-01:00|モンテネグロ/セルビア| |||<死去>ドゥクリヤ公「ステファン・ウオイスラウ」
- 1043年-01:00|イタリヤ| |||<就任>ヴェネツィア共和国第30代ドージェ(元首)「トメニコ・コンタリニ」(~1071年)
- 1043年-01:00|イタリヤ| |||<就任>プツィヤ伯(オートヴィル家)「グリエルモ1世」(~1046年)
- 1043年-01:00|スペイン| |||<即位>アルプエンテ・タイファ「Muhammad2世」⇒「Abd Allah2世」(~1106年ムラービト朝へ)
- 1043年-01:00|イタリヤ| |||<即位>スレート公「ボニフェス3世」(~10520506死去)
- 1043年-01:00|スペイン| |||<即位>トレタ・タイファ「Yahya1世al-Ma'mun」(~1075年)
- 1043年-01:00|モンテネグロ/セルビア| |||<即位>ドゥクリヤ公「コイスラウ・ウオイスラウ・リェグイチ」(~1054年死去)
- 1043年 00:00|イギリス| |||スコットランド王マクベスはロウハバの領主でアルピン王家の血を引くバンクウォを殺害/バンクウォの長男フリアンはウェールズに逃れた
- 1043年 00:00|イギリス| |||デハバースはグイネドの一部(~1045年)
- 1043年1月21日-09:00|日本|京都府京都市|長久3年12月8日|内裏が焼失
- 1043年2月4日-09:00|日本| ||長久3年12月22日|武蔵で大地震。仏閣堂宇倒壊
- 1043年2月13日-08:00|中国| ||宋・慶暦3年|宋で郭皇后の廃絶問題に端を発し慶暦の党争がおこる
- 1044年-07:00|カンボジア/ラオス/ベトナム| |||ベトナム李朝の太宗がチャンパを攻撃し南進圧力を強める
- 1044年-05:30|インド| |||<死去>チョーラ朝国王「ラージェントラ1世」
- 1044年-05:30|インド/スリランカ| |||<即位>チョーラ朝国王「Rajadhiraja Chola」ラージェントラ1世の息子(~1052年死去)
- 1044年-05:30|インド| |||南インドのチョーラ朝ラージェンティラージャ1世がチャルキヤ朝を攻撃

1050迄 (1322件)

- 1044年-03:00|ベラルーシ| |||<死去>ボロック公「フリャチスラフ・イジヤスラウイチ」
- 1044年-03:00|ベラルーシ| |||<即位>ボロック公「フセスラフ・フリャチスラウイチ」(~11010424死去)
- 1044年-01:00|クロアチア/スロベニア/イタリア| |||<死去>イストリア辺境伯・カルニオラ辺境伯「Poppo1世」
- 1044年-01:00|ドイツ| |||<就任>スポンハイム伯「Siegfried1世」(~1065年)
- 1044年-01:00|クロアチア/トルコ| |||<就任>ビザンチンのラヴザ総督「ヒエトロ・スラハ」(~1072年)
- 1044年-01:00|フランス| |||<即位>下ロリングア公「コトロン2世」(~1046年)
- 1044年-01:00|フランス| |||<即位>上ロリングア公「コトロン(髭公)」(~1047年皇帝ハインリヒ3世により公位を剥奪)
- 1044年-01:00|ニジェール| |||<即位>ソンガイ王国国王「ハン・コン・ワンコ・タム」(~1063年)
- 1044年-01:00|ドイツ/ハンガリー| |||ドイツ王ハインリヒ3世がハンガリーをドイツの知行とする
- 1044年 00:00|イギリス| |||<死去>デューハース王「ハウエル・アプ・エドウィン」
- 1044年 07:00|メキシコ| |||チチメカ人、テオティワカンに侵入
- 1044年1月3日-09:00|日本|京都府京都市|長久4年12月1日|皇居一条院が焼失
- 1044年1月17日-08:00|中国| ||契丹・重熙12年12月15日|政事省を改めて中書省と為す
- 1044年2月2日-08:00|中国| ||大理・聖明3年|<即位>前大理第11代皇帝「孝徳帝(段思廉)」(~1075年讓位)
- 1044年2月2日-08:00|中国| ||大理・聖明3年|<廢位>前大理第10代皇帝「天明帝(段素興)」
- 1044年2月2日-07:00|ベトナム| ||大越・明道3年|<即位>チャンパ王「ジヤ・ハラム・シュウアラウアルマン1世」(~1060年)
- 1044年2月2日-07:00|ベトナム| ||大越・明道3年|太宗、チャンパを攻撃
- 1044年3月-03:00|イラク/イラン| |||<死去>アワフ朝(イラク地方・ケルマン地方)アミール「ジヤラル・ウッタウラ」
- 1044年3月-03:00|イラク/イラン| |||<即位>アワフ朝(イラク地方・ケルマン地方)アミール「アブー・カリジヤール」スルタン・ウッタウラの子(~1048.10死去)
- 1044年6月5日-08:00|中国| ||契丹・重熙13年;西夏・天授7年5月7日|契丹帝国領内のタングート族の叛乱をきっかけに、契丹帝国が西夏に侵攻してオロス東北部を契丹帝国の領土とする
- 1044年6月23日-08:00|中国| ||西夏・天授7年5月25日|西夏・李元昊、宋に臣を称す
- 1044年7月5日-01:00|ハンガリー| |||<死去>ハンガリー王「サミュエル」皇帝軍に再度ハンガリーを攻撃されメンフォの戦いで戦死
- 1044年7月5日-01:00|ハンガリー| |||<復位>ハンガリー王「ペテル1世」(2回目~10460830死去)
- 1044年8月11日-06:30|ミャンマー| |||<即位>パガオン王朝君主「アノヤター」(~10770411死去62歳)
- 1044年9月-01:00|パチン| |||<廢位>第145代ローマ教皇「ベネディクトゥス9世」追放
- 1044年10月24日-08:00|中国| ||宋・慶曆4年;西夏・天授7年10月|西夏・李元昊は宋と講和/5年近く続いた戦争が終結
- 1044年10月24日-07:00|ベトナム| ||大越・天感聖武1年10月|李朝の太宗李仏瑪がチャンパ王国(占城)首都グイジャ(現代のビントゥン省)への親征から凱旋帰国/天感聖武に改元(-1049年)
- 1044年11月27日-08:00|中国| ||契丹・重熙13年;西夏・天授7年11月6日|契丹はさらに興慶府郊外まで攻め込んだが、李元昊は反撃してかろうじて撃退し、講和/契丹、軍を還す
- 1044年11月30日-08:00|中国| ||契丹・重熙13年11月9日|契丹、雲州(山西省大同市)を西京とする
- 1044年12月16日-09:00|日本| ||寛徳1年11月24日|長久から寛徳に改元
- 1045年-08:00|インドネシア| |||サンジャ朝マタン王国の末裔で、バリ島を含む東ジャワ統一の偉業を成し遂げたエラウガは、国土を二人の息子に分け与えて引退/ジャカランダ…北部のスラバヤ地方;パシヤル国…南部のケイリを都として繁栄
- 1045年-04:00|アルメニア/トルコ| |||アルメニアは東ローマ(ビザンチン)帝国の一部(~1064年)
- 1045年-03:00|ベラルーシ| |||<即位>トカーロフ公「イジヤスラフ・ヤロスラウイチ」(~10781003死去)
- 1045年-02:00|トルコ| |||百科全書派の学者ブヘロスがビザンチン帝国の大学を再興
- 1045年-01:00|スロベニア| |||<就任>カルニオラ辺境伯「Ulric1世」(~10700306死去)
- 1045年-01:00|フランス| |||<就任>フランク王国ゲルマンド伯「Herbert4世」(~1080年死去)
- 1045年-01:00|フランス| |||<就任>メス伯「Adalbert」(~1048年)
- 1045年-01:00|ドイツ| |||<就任>ロリングア宮中伯「ハインリヒ1世狂気伯/修道士伯」(~1061年死去)
- 1045年-01:00|スペイン| |||<即位>アルメリア・アルバラチン・タイファ「Abu Marwan ' Abd al-Malik」(~1103年)
- 1045年-01:00|ドイツ/スイス| |||<即位>シュヴァーベン大公「オットー2世」ロリングア宮中伯オットー1世(~10470907死去)
- 1045年-01:00|スペイン| |||<即位>デニア・タイファ「Ali Iqbal ad-Dawla」(~1076年サゴサ王国へ)
- 1045年-01:00|スペイン| |||<即位>パダホス・タイファ「Abu Bakr Muhammad ibn Abdallah al-Aftas」(~1066年)
- 1045年-01:00|ドイツ/スイス| |||<退位>シュヴァーベン大公「ハインリヒ1世」
- 1045年 00:00|イギリス| |||<即位>グウェント王「モリク・アプ・ハウエル」、「キッドウガン・アプ・モリク」(~1055年)
- 1045年 00:00|イギリス| |||スコットランド王マクベスはダンカン1世の父クリナンを敗死させた
- 1045年 00:00|イギリス| |||デハハースはモルガスタの一部(~1055年)
- 1045年1月13日-01:00|パチン| |||<就任>第146代ローマ教皇「シルヴェステル3世」(~10450310)
- 1045年1月21日-08:00|中国| ||大理・保安1年|大理国の段思廉が(-1052年)と改元
- 1045年2月5日-09:00|日本| ||寛徳2年1月16日|<讓位>第69代「後朱雀天皇」
- 1045年2月5日-09:00|日本| ||寛徳2年1月16日|<踐祚>70代「後冷泉天皇」(4月8日即位~10680419)
- 1045年2月7日-09:00|日本| ||寛徳2年1月18日|<死去>第69代「後朱雀天皇」/37歳(誕生:寛弘6(1009)1126)
- 1045年2月8日-09:00|日本| ||寛徳2年1月19日|<死去>藤原定頼(生年995年/公卿、歌人)
- 1045年3月-03:00|イラク| |||アワフ家のアブー・カリジヤールがバグダードに入城、大アミール職に就任
- 1045年3月10日-01:00|パチン| |||<再任>第147代ローマ教皇「ベネディクトゥス9世」(~5.1退任)
- 1045年3月10日-01:00|パチン| |||<退任>第146代ローマ教皇「シルヴェステル3世」
- 1045年5月1日-01:00|パチン| |||<就任>第148代ローマ教皇「グレゴリウス6世」(~10461220辞任)

1050迄 (1322件)

- 1045年5月1日-01:00|バチカン| |||<退任>第147代ローマ教皇「ベネディクトゥス9世」
- 1045年6月-01:00|イタリア| |||<死去>アウエルシュ伯「Rainulf1世」
- 1045年6月-01:00|イタリア| |||<就任>アウエルシュ伯「Asclettin」⇒「Rodulf Cappello」(~1046年)、「Rainulf2世Trincanote」(~1048年)
- 1045年8月18日-09:00|日本|京都府京都市|寛徳2年7月4日|藤原頼通の高倉第焼亡
- 1045年12月2日-09:00|日本| ||寛徳2年10月21日|前任の国司が在任中以後の新立の荘園を停止(寛徳の荘園整理令)
- 1046年-01:00|イタリア| |||<死去>フツリヤ伯「グリエルモ1世」
- 1046年-01:00|イタリア| |||<就任>フツリヤ伯「ドゥロネ」グリエルモ1世の弟(~10510810死去)
- 1046年-01:00|フランス| |||<即位>下ロリンギア公「フレリク」(~1065年)
- 1046年-01:00|ノルウェー| |||<即位>ノルウェー王「ハラル3世シグルド」ソグ烈王(~10660925没)
- 1046年1月24日-01:00|ドイツ| |||<死去>オストマルク辺境伯・マイセン辺境伯「エックハルト2世」
- 1046年1月24日-01:00|ドイツ| |||<就任>オストマルク辺境伯「テド1世」ディートリヒ2世の子でティートマル2世の娘婿(~1069年)兼ラウッツ辺境伯(~1075.10死去)
- 1046年1月24日-01:00|ドイツ| |||<就任>マイセン辺境伯・テューリンゲン辺境伯「ウイヘルム4世」ウアイマル伯ウイヘルム3世の長男(~1062年死去)
- 1046年2月9日-09:00|朝鮮| ||高麗・重熙15年|<即位>高麗王「文宗」(~1083年)
- 1046年2月9日-09:00|韓国/朝鮮| ||高麗・重熙15年|高麗・靖宗が長子相続法を定める
- 1046年2月9日-08:00|中国| ||契丹の重熙15年|『礼典』3巻、『遼朝雜礼』1巻が完成
- 1046年4月7日-09:00|日本|京都府京都市|寛徳3年2月28日|太政官朝所焼失
- 1046年5月22日-09:00|日本| ||永承1年4月14日|寛徳から永承に改元
- 1046年8月30日-01:00|ハンガリー| |||<死去>ハンガリー王「ベテ1世」
- 1046年8月30日-01:00|ハンガリー| |||<即位>ハンガリー王「アントラーシュ1世白王」イシュトヴァーン1世の従甥(~10601206没)
- 1046年12月20日-01:00|バチカン| |||<辞任>第148代ローマ教皇「グレゴリウス6世」
- 1046年12月24日-01:00|バチカン| |||<就任>第149代ローマ教皇「クレメン2世」(~10471009)
- 1046年12月25日-01:00|ドイツ/イタリア/オーストリア/チェコ| |||<即位>神聖ローマ皇帝「ハインリヒ3世」兼イタリア王「エンリコ3世」コンラート2世の長子、ドイツ王(~10561005死去)
- 1047年-05:30|インド| |||<即位>ホイヤ朝国王「ウイヤヤテイヤ」(~1098年)
- 1047年-03:00|イェメン| |||<即位>スレイマン朝スルタン「アリ・アズ=スラヒ」建国(~1066年死去)
- 1047年-01:00|フランス| |||<死去>トドロ・モー伯「Stephen2世」兼シャンパニュ伯「エティエンヌ2世」
- 1047年-01:00|イタリア| |||<就任>ウエロナ辺境伯「Welf」(~10551113死去)
- 1047年-01:00|フランス| |||<就任>トドロ伯「ウード4世」兼モー伯・シャンパニュ伯「ウード2世」エティエンヌ2世の息子(~1066年)
- 1047年-01:00|イタリア| |||<即位>アルフィ公「ガイマ2世」父と共同統治(~1052年廃位)
- 1047年-01:00|オーストリア/スロベニア| |||<即位>ケルンテン公「ウエルフ3世」(~10551113死去)
- 1047年-01:00|スペイン| |||<即位>マカ・タイファ「Muhammad1世」(~1053年)
- 1047年-01:00|フランス| |||<即位>ロレーヌ(ロトリンゲン)公「アタルベール」(~1048年)
- 1047年-01:00|フランス| |||<廃位>上ロリンギア公「ゴドフロワ(髭公)」皇帝ハインリヒ3世により公位を剥奪
- 1047年-01:00|イタリア| |||<復位>カプア公「ハントアルフ4世」(3期目~1050年死去)
- 1047年 07:00|キシュ| |||��人、テチンコを破壊
- 1047年1月22日-09:00|日本|奈良県奈良市|永承1年12月24日|興福寺、北円堂を除いて全焼
- 1047年7月26日-08:00|中国| ||宋・慶暦7年冬|王則、自立し得聖(1047)と改元/66日で平定
- 1047年9月7日-01:00|ドイツ/スイス| |||<死去>シュヴァーベン大公「オット2世」
- 1047年10月9日-01:00|バチカン| |||<死去>第149代教皇「クレメン2世」
- 1047年10月14日-01:00|ルクセンブルク/フランス| |||<死去>アルテンヌ伯「ハインリヒ2世」
- 1047年10月14日-01:00|ルクセンブルク/フランス| |||<就任>アルテンヌ伯「ギゼルベルト2世」ハインリヒ2世の兄弟(~10590814没)
- 1047年10月16日-01:00|ドイツ/オーストリア/ルクセンブルク| |||<死去>ハインリヒ大公「ハインリヒ7世」(ルクセンブルク伯「ハインリヒ2世」)
- 1047年10月16日-01:00|ドイツ/オーストリア| |||<復位>ハインリヒ大公「ハインリヒ6世」(~1049年)
- 1047年10月25日-01:00|デンマーク/ノルウェー| |||<死去>デンマーク王・ノルウェー王「マグヌス1世善王」23歳
- 1047年10月25日-01:00|デンマーク| |||<即位>デンマーク王「スヴェン2世エストリクセン」ウルフ伯とエストリクの息子(~10760428死去)
- 1047年11月8日-01:00|バチカン| |||<就任>第150代ローマ教皇「ベネディクトゥス9世」(~10480717廃位)
- 1048年-05:30|インド/アフガニスタン| |||<即位>ガズナ朝君主「マサード2世」(1048年)⇒「アリ」(1049年)
- 1048年-04:00|アルメニア| |||<即位>明王「ケルゲン2世」(~1089年)
- 1048年-03:30|イラン/イラク| |||<即位>ブワイハ朝(ファールス地方)第9代国王マリク・アッヒーム(イラク地方)第11代国王マリク・アッヒーム[アブ=カリシヤールの子](~1055年)
- 1048年-01:00|ベルギー| |||<死去>リエージュ公「ワツ」
- 1048年-01:00|イタリア| |||<就任>アウエルシュ伯「Herman」(~1049年)
- 1048年-01:00|フランス| |||<就任>メス伯「Gerhard」(~1070年)
- 1048年-01:00|ベルギー| |||<就任>リエージュ公「セトウイン」(~10750623死去)
- 1048年-01:00|スペイン| |||<即位>アルジエシラス・タイファ「al-Qasim al-Wathiq」(~1058年セリア王国へ)
- 1048年-01:00|ドイツ/スイス| |||<即位>シュヴァーベン大公「オット3世」(~10570928死去)
- 1048年-01:00|スペイン| |||<即位>シルバ・タイファ「Isa2世」(~1053年)

1050迄 (1322件)

- 1048年-01:00|フランス| |||<即位>ロレーヌ(ロートリンゲン)公「ジエラル」(~10700306)
- 1048年1月12日-09:00|日本| ||永承2年12月24日|筑前国の清原守武、密かに入宋する罪で佐渡に流される
- 1048年1月18日-09:00|日本|熊本県宇土市|永承3年|宇土城(西岡台)築城
- 1048年1月19日-08:00|中国| ||西夏・天授11年1月2日|<死去>西夏初代皇帝「景宗(武烈皇帝)李元昊」
- 1048年1月19日-08:00|中国| ||西夏・天授11年1月2日|<即位>西夏第2代皇帝「毅宗(昭英皇帝)李諒祚」(~拱化5年12月(1068年1月)病死)
- 1048年4月17日-09:00|日本|奈良県奈良市|永承3年3月2日|奈良・興福寺が完成
- 1048年6月1日-09:00|日本| ||永承3年4月17日|<死去>河内源氏の祖・源頼信
- 1048年7月17日-01:00|バチカン| |||<就任>第151代ローマ教皇「ダマス2世」(~8.9死去)
- 1048年7月17日-01:00|バチカン| |||<廃位>第150代ローマ教皇「ベネディクトゥス9世」
- 1048年7月19日-01:00|イタリア/フランス| |||<死去>サウオア伯「ウンベルト・ビアンカマーノ」
- 1048年7月19日-01:00|イタリア/フランス| |||<就任>サウオア伯「アメリコ1世」(~1051年死去)
- 1048年8月9日-01:00|バチカン| |||<死去>第151代ローマ教皇「ダマス2世」
- 1048年10月-03:30|イラン| |||<即位>ブワイフ朝(ファールス地方)アミール「フアラート・ストゥーン」アブー・カリジヤールの子(~1062年死去)
- 1048年10月-03:00|イラク/イラン| |||<死去>ブワイフ朝(イラク地方・クルマーン地方)アミール「アブー・カリジヤール」
- 1048年10月-03:00|イラク| |||<即位>ブワイフ朝(イラク地方)アミール「マリク・アッラヒム」アブー・カリジヤールの子(~1055年退位)
- 1048年12月9日-09:00|日本|京都府京都市|永承3年11月2日|内裏焼失
- 1049年-05:30|インド| |||<即位>カズナ朝君主「アブドゥッラシド」(~1052年)
- 1049年-04:30|アフガニスタン| |||<即位>カズナ朝第14代国王「アブドゥッラシド」(~1052年)
- 1049年-04:00|アルメニア/アゼルバイジャン| |||<即位>シャタラト朝国王「アヌーシルヴァーン・ビン・アリ2世・ラシュカリ」=>「アブ・ル・アスワール1世・ビン・アル・ファトル1世」(~10671119死去)
- 1049年-03:00|イラク| |||「ハグ・ダット」でシア派やスンニ派住民が抗争(~1053)
- 1049年-01:00|フランス| |||<死去>メゴン伯「オット2世」
- 1049年-01:00|イタリア| |||<就任>アヴェルサ伯「Richard1世」(~1078年)
- 1049年-01:00|フランス| |||<就任>メゴン伯「Geoffroy」(~1065年死去)
- 1049年-01:00|フランス| |||<就任>モルテン伯「Robert」(~1104年)
- 1049年-01:00|トイ/オーストリア| |||<即位>バリエル大公「コンラート1世(クノ)」ロレーヌ公リウトルフの息子。ストフェン伯(~1053年廃位)
- 1049年-01:00|チエコ/スロバキア| |||<即位>モラヴィア公「スピチフニェフ2世」ブジエフスラフ1世の長子(~1054年退位~10610128死去)
- 1049年-01:00|チエコ/スロバキア| |||<退位>モラヴィア公「ブジエフスラフ1世」(~10550110死去)
- 1049年1月13日-01:00|オランダ| |||<死去>ホラント伯「ディルク4世」
- 1049年1月13日-01:00|オランダ| |||<就任>ホラント伯「フロリス1世」(~10610628死去)
- 1049年2月5日-08:00|中国| ||西夏・延嗣寧国1年|西夏の毅宗が延嗣寧国と改元
- 1049年2月5日-08:00|中国| ||宋・皇祐1年|北宋代仁宗が皇祐(-1054年)と改元
- 1049年2月12日-01:00|バチカン| |||<就任>第152代ローマ教皇「レオ9世」(~10540419死去)
- 1049年3月13日-09:00|日本| ||永承4年2月7日|<死去>脩子内親王(生年997年、一条天皇の第一皇女)
- 1049年3月18日-09:00|日本|奈良県奈良市|永承4年2月18日|興福寺北円堂・唐院・伝法院など焼失
- 1049年4月5日-07:00|ベトナム| ||大越・崇興大宝1年3月|李朝の太宗李仏瑀が崇興大宝に改元(-1054年)
- 1049年4月19日-09:00|日本|熊本県阿蘇市|永承4年3月19日|肥後国阿蘇社焼失
- 1049年6月3日-09:00|韓国/朝鮮| ||高麗・重熙18年5月|高麗、功蔭田柴科を定める
- 1049年7月3日-01:00|オランダ| |||<死去>エノー伯「エルマン」
- 1049年7月23日-09:00|日本|京都府京都市中京区|永承4年6月23日|閑院内裏焼失
- 1049年7月28日-04:00|アゼルバイジャン/ロシア| |||<死去>シルヴァンシャ朝国王「Kubad」
- 1049年7月28日-04:00|アゼルバイジャン/ロシア| |||<即位>シルヴァンシャ朝国王「Ali3世Bukhtnassar」前王の甥(~1050年死去)
- 1049年8月8日-08:00|中国| ||契丹・重熙18年;西夏・延嗣寧国1年7月7日|契丹皇帝の興宗が自ら兵を率いて西夏へ来寇し、その一軍は興慶府近くまで攻め込んだ/西夏軍は大損害を受ける
- 1049年9月30日-08:00|中国/ベトナム| ||宋・皇祐1年9月|ベトナム広源州の儂智高が叛乱を起こして南天国を建設、広西に侵入
- 1050年-08:00|インドネシア| |||ケティを都とするパングヤル国がジャングラ国を併合して東部ジャバを統一、ここにケティ朝が成立
- 1050年-07:00|カンボジア| |||<死去>クメール王朝国王「スリヤヴァルマン1世」
- 1050年-07:00|カンボジア| |||<即位>クメール王朝国王「ウダヤティイチャヴァルマン2世」(~1066年)
- 1050年-05:30|インド| |||<即位>チャンドラ朝国王「Deva-Varman」(~1060年)
- 1050年-05:30|インド| |||チャールキヤ朝ソーメシュヴァラ1世がチョラ朝の侵略を撃退・連勝する
- 1050年-04:30|アフガニスタン| |||<死去>カズナ朝君主「マウトウド」
- 1050年-04:30|アフガニスタン| |||<即位>カズナ朝君主「アブドゥッラシド」(~1052年)
- 1050年-04:00|アゼルバイジャン/ロシア| |||<死去>シルヴァンシャ朝国王「Ali3世Bukhtnassar」
- 1050年-04:00|アゼルバイジャン/ロシア| |||<即位>シルヴァンシャ朝国王「Salar」前王の叔父(~10630220死去)
- 1050年-03:30|イラン| |||<死去>スィヤール朝第6代国王「アヌーシルヴァーン・ブン・ヌーフル」
- 1050年-03:30|イラン| |||<即位>サラト朝(タラム)国王「Musafir ibn Ibrahim2世」(~1062年死去)

1050迄 (1322件)

- 1050年-03:30|イラン| |||<即位>スィヤール朝第7代国王「カイ=カーウス・ブン・イスクンダール・ブン・カーブ=ス・ブン・ワシムギール」(~1087年死去)
- 1050年-03:30|イラン| |||セルジューク軍がイスファフーン包囲し、カークイ朝を滅ぼす
- 1050年-03:00|イェメン| |||<即位>ナジャーフ朝アミール「al-Mu'ayyad Najah」建国(~1060年)
- 1050年-01:00|イタリア| |||<死去>カプア公「ハントール4世」
- 1050年-01:00|オーストリア| |||<死去>シュターア=マルツ辺境伯「Godfrey of Pitten」暗殺される
- 1050年-01:00|スウェーデン| |||<死去>スウェーデン王国国王「アヌト・ヤコブ」
- 1050年-01:00|スペイン| |||<死去>ベルカ伯「Bernard1世」
- 1050年-01:00|スペイン| |||<就任>ベルカ伯「Berengar」⇒「Raymond」(~1068年)
- 1050年-01:00|イタリア| |||<即位>カプア公「ハントール6世」(~1057年死去)
- 1050年-01:00|スウェーデン| |||<即位>スウェーデン王国国王「エムト(老王)」(~1060年死去)
- 1050年 00:00|モロッコ| |||<即位>ムラ=ヒト朝アミール「Yahya ibn Umar al-Lamtuni」(~1056年死去)
- 1050年 05:00|ヘル| |||ヘル北部のシカ文化が大火で消滅
- 1050年1月10日-01:00|チェコ| |||<即位>ホヘミア公「スピチフニフ2世」(~1054年退位~10610128死去)
- 1050年1月26日-08:00|中国| ||西夏・天祐垂聖1年|西夏の毅宗が天祐垂聖(-1052年)と改元
- 1050年1月26日-08:00|中国| ||宋・皇祐2年|范仲淹が蘇州に同族の共有地である義荘(義田)をつくる
- 1050年1月26日-07:00|ベトナム| ||大越・崇興大宝2年|弘運河を掘削
- 1050年6月11日-02:00|トルコ| |||<死去>東ローマ帝国皇帝「ゾエ」
- 1050年11月30日-09:00|日本| ||永承5年閏10月14日|<死去>藤原行経、平安時代の公卿、能書家(生年1012年)